

(様式第10)

兵医法第 50 号

令和 6 年 10 月 4 日

厚生労働大臣 殿

開設者名

学校法人 兵庫医科大学  
理事長 太城 力良

兵庫医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
氏名	学校法人 兵庫医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

兵庫医科大学病院
----------

3 所在の場所

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
電話( 0798 ) 45 - 6111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科		
診療実績							
・内分泌内科、代謝内科の診療内容は「内分泌・代謝内科」で提供。 ・腎臓内科の診療内容は、「腎臓・人工透析内科」で提供。 ・感染症内科の診療内容は、主として総合内科および感染制御部で提供 ・神経内科の診療内容は「脳神経内科」にて提供。							

- (注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
・乳腺外科、内分泌外科の診療内容は「乳腺・内分泌外科」で提供。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	リハビリテーション	2	臨床検査科	3	病理診断科	4	糖尿病内科	5	肝臓・胆のう・膵臓
6	腫瘍内科	7	形成外科	8	美容外科	9	頭頸部外科	10	ペインクリニック・疼痛科
11	内分泌・代謝内科	12	脳神経内科	13	腎臓・人工透析内科	14	乳腺・内分泌外科	15	歯科口腔外科
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
44	0	0	0	919	963

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	523	57	580	看護補助者	145	診療エックス線技師	0
歯科医師	19	4	23	理学療法士	38	臨床検査技師	100
薬剤師	77	0	77	作業療法士	14	衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	11	その他	0
助産師	30	0	30	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	949	32	981	臨床工学士	30	医療社会事業従事者	9
准看護師	0	3	3	栄養士	0	その他の技術員	22
歯科衛生士	6	0	6	歯科技工士	2	事務職員	201
管理栄養士	9	0	9	診療放射線技師	53	その他の職員	89

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	69.1	眼科専門医	15.9
外科専門医	60	耳鼻咽喉科専門医	11
精神科専門医	11	放射線科専門医	4
小児科専門医	20	脳神経外科専門医	16
皮膚科専門医	6	整形外科専門医	14
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	27
産婦人科専門医	16	救急科専門医	7
		合計	286

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 池内 浩基 ) 任年月日 2022 年 4 月 1 日

(2022.4.1-2024.3.31)  
 医療安全担当副院長  
 医療安全管理責任者  
 医療安全審議委員長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	720.8 人	7.6 人	728.4 人
1日当たり平均外来患者数	2239.2 人	82.6 人	2321.8 人
1日当たり平均調剤数		1250	剤
必要医師数		148	人
必要歯科医師数		5.08	人
必要薬剤師数		25	人
必要(准)看護師数		371	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	450.4 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(RC)	病床数	床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 339.44 m <sup>2</sup>		病床数	床		
	[移動式の場合] 台数 台					
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 41.95 m <sup>2</sup>					
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	159.5 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(SRC)	(主な設備)	生化学・免疫統合型分析装置cobas8000<c702>, cobas8000<e801> 免疫分析ARCHITECTi1000SR,全自動糖分析装置GA09, 東ソー自動グリコヘモグロビン分析計HLC-723G11		
細菌検査室	145.9 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(SRC)	(主な設備)	マイクロスキャンWalkAway96、バクテックFX バクテックMGIT、GENECUBE		
病理検査室	208.9 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(SRC)	(主な設備)	クリオスタット、連続迅速自動固定包埋装置、 HE自動染色装置、自動免疫染色装置		
病理解剖室	110.7 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(SRC)	(主な設備)	解剖台		
研究室	17125 m <sup>2</sup>	鉄骨造(S)	(主な設備)			
講義室	2006.6 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(RC)	室数 15 室	收容定員	1481	人
図書室	1128 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(RC)	室数 1 室	蔵書数		冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	101.4	%	逆紹介率	73.6	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		25502		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		19651		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1553		人
	D: 初診の患者の数		26694		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
宮崎 浩彰	関西医科大学医療安全管理センター	○	医療に係る安全管理に関する見解を有する者	無	1
亀井 尚也	かけはし法律事務所		法律に関する見解を有する者	無	1
辰馬 勝	学校法人 関西学院評議員 関西学院同窓会		医療を受ける者の立場から意見を述べることができる者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
兵庫医科大学病院のホームページにて掲載	





(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	骨軟部腫瘍に対する経皮的凍結治療	取扱患者数	0
当該医療技術の概要 他の治療法が有効でなかった骨軟部腫瘍の患者に対し経皮的凍結治療を施行する。治療領域が確認できることで、神経損傷を回避しやすくなり、手技中の疼痛も少ないという利点がある。さらに、良好な除痛効果や腫瘍縮小効果が期待できる治療法である。			
医療技術名	経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)	取扱患者数	47
当該医療技術の概要 カテーテルを用いて大動脈弁を人工弁に置き換える治療法。従来の開胸大動脈弁置換術よりも低侵襲であり、手術が困難と判断された高齢者でも可能な大動脈弁狭窄症の治療法である。			
医療技術名	腹腔鏡下胃切除術(ロボット支援下手術)	取扱患者数	16
当該医療技術の概要 体への負担が少なく、より正確で安全性の高い操作が可能な手術支援ロボットによる低侵襲な胃癌の手術。			
医療技術名	腹腔鏡下直腸切除・切断術(ロボット支援下手術)	取扱患者数	56
当該医療技術の概要 手術支援ロボットにより、従来の腹腔鏡よりも緻密な手術が可能になり、機能温存が重要な直腸がんの手術に有用な治療法である。			
医療技術名	アミロイドPET	取扱患者数	29
当該医療技術の概要 アルツハイマー型認知症のリスクを評価する最先端の検査です。アルツハイマー病の原因である脳のアミロイドβに集積する物質を注射し、脳内にどのくらい蓄積するかを調べます。			
医療技術名	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(ロボット支援下手術)	取扱患者数	58
当該医療技術の概要 縦隔腫瘍に対して手術支援ロボットにより低侵襲かつ安全にアプローチ可能となる治療法である。			
医療技術名	胸腔鏡下良性・悪性縦隔腫瘍手術(ロボット支援下手術)	取扱患者数	11
当該医療技術の概要 縦隔腫瘍に対して手術支援ロボットにより低侵襲かつ安全にアプローチ可能となる治療法である。			
医療技術名	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(ロボット支援下手術)	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 重症筋無力症の治療において手術支援ロボットを使用することで低侵襲で安全に施行可能な治療法である。			
医療技術名	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(ロボット支援下手術)	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 咽頭がんや喉頭がんの治療において手術支援ロボットを使用することで低侵襲で安全に施行可能な治療法である。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	12
取り扱い患者数の合計(人)	227

## 高度の医療の提供の実績等

(様式第2)

### 4 指定難病についての診療

疾 患 名		患者数	疾 患 名		患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	2	56	ベーチェット病	22
2	筋萎縮性側索硬化症	19	57	特発性拡張型心筋症	8
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	14
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	11	60	再生不良性貧血	22
6	パーキンソン病	163	61	自己免疫性溶血性貧血	13
7	大脳皮質基底核変性症	6	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	27
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	6
10	シャルコー・マリー・トゥース病	6	65	原発性免疫不全症候群	4
11	重症筋無力症	94	66	IgA 腎症	26
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	32	68	黄色靱帯骨化症	2
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	34	69	後縦靱帯骨化症	32
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	1
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	19
17	多系統萎縮症	10	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	15	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライノゾーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	10
21	ミトコンドリア病	12	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	14	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	9	83	アジソン病	6
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	22
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	35
31	ベスレムミオパチー	1	86	肺動脈性肺高血圧症	9
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	5
34	神経線維腫症	1	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	1	90	網膜色素変性症	27
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	3	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性胆管炎	20
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	6
40	高安動脈炎	13	95	自己免疫性肝炎	35
41	巨細胞性動脈炎	10	96	クローン病	341
42	結節性多発動脈炎	4	97	潰瘍性大腸炎	429
43	顕微鏡的多発血管炎	29	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	20	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	3
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	19	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	2	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	パージャール病	5	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	106	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	66	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	26	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	9	107	若年性特発性関節炎	4
53	シェーグレン症候群	110	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	10	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	2
111	先天性ミオパチー	2	161	家族性良性慢性天疱瘡	2
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3
113	筋ジストロフィー	9	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	7	167	マルファン症候群／ロイス・ディーツ症候群	5
118	脊髄髄膜瘤	7	168	エーラス・ダンロス症候群	4
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシタル・ホーン症候群	0
121	脳内鉄沈着神経変性症	0	171	ウイソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	HTRA1関連脳小血管病	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0

## 高度の医療の提供の実績等

(様式第2)

### 4 指定難病についての診療

疾患名		患者数	疾患名		患者数
126	ペリー病	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	2	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	1	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	3
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鯉耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レンックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	1
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	1	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	1	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	0
211	左心低形成症候群	0	259	レチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	システロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジュール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	13
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	4	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	2	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	7
222	一次性ネフロゼ症候群	2	270	慢性再発性多発性骨髄炎	2
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	14
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	1	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	3
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	8	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	4	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	3	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	1	281	クリッペルトレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	20	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	2
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	1
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0

## 高度の医療の提供の実績等

(様式第2)

### 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	3
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎	0
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	27
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	2
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	3
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	72
307	カナバン病	0	321	非ケトシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	1
313	先天性肺静脈狭窄症	1	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	0
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	1	331	特発性多中心性キャッスルマン病	2
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜炎ジストロフィー	0
319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
			339	MECP2重複症候群	0
			340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	0
			341	TRPV4異常症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	129
合計患者数(人)	2,300

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	患者サポート体制充実加算
歯科外来診療環境体制加算2	報告書管理体制加算
歯科診療特別対応連携加算	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
医療DX推進体制整備加算	ハイリスク妊娠管理加算
特定機能病院入院基本料	ハイリスク分娩管理加算
救急医療管理加算	呼吸ケアチーム加算
超急性期脳卒中加算	術後疼痛管理チーム加算
診療録管理体制加算1	後発医薬品使用体制加算2
医師事務作業補助体制加算1 20対1	バイオ後続品使用体制加算
急性期看護補助体制加算(25対1看護補助者5割以上)	病棟薬剤業務実施加算1
夜間100対1急性期看護補助体制加算	病棟薬剤業務実施加算2
急性期看護補助体制加算の注3に掲げる夜間看護体制加算	データ提出加算2
急性期看護補助体制加算の注4に掲げる看護補助者体制充実加算1	入退院支援加算2
看護職員夜間配置加算 看護職員夜間12対1配置加算1	入退院支援加算の注4に規定する地域連携診療計画加算
看護補助加算2	入退院支援加算の注7に規定する入院時支援加算
看護補助加算2の注4に掲げる看護補助体制充実加算1	認知症ケア加算1
無菌治療室管理加算1	せん妄ハイリスク患者ケア加算
無菌治療室管理加算2	精神疾患診療体制加算
緩和ケア診療加算	排尿自立支援加算
精神病棟入院時医学管理加算	地域医療体制確保加算
精神科身体合併症管理加算	救命救急入院料1
精神科リエゾンチーム加算	救命救急入院料4
摂食障害入院医療管理加算	救命救急入院料の注1に掲げる算定上限日数基準
栄養サポートチーム加算	救命救急入院料の注2に掲げる精神疾患診断治療初回加算
医療安全対策加算1	救命救急入院料の注8に掲げる早期離床・リハビリテーション加算
感染対策向上加算1、指導強化加算	救命救急入院料4の注9に掲げる早期栄養介入管理加算



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料の注2に規定する加算	ハイリスク妊産婦連携指導料1
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	ハイリスク妊産婦連携指導料2
糖尿病合併症管理料	がん治療連携計画策定料
がん性疼痛緩和指導管理料	肝炎インターフェロン治療計画料
がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	外来排尿自立指導料
がん患者指導管理料イ	こころの連携指導料Ⅱ
がん患者指導管理料ロ	薬剤管理指導料
がん患者指導管理料ハ	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
がん患者指導管理料ニ	医療機器安全管理料1
外来緩和ケア管理料	医療機器安全管理料2
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	精神科退院時共同指導料2
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	在宅酸素療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
糖尿病透析予防指導管理料	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
外来放射線照射診療料	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
乳腺炎重症化予防ケア	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
婦人科特定疾患治療管理料	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
腎代替療法指導管理料	遺伝学的検査
一般不妊治療管理料	染色体検査の注2に規定する絨毛染色体検査
生殖補助医療管理料1	骨髄微小残存病変量測定
二次性骨折予防継続管理料1	BRCA1/2遺伝子検査
二次性骨折予防継続管理料3	がんゲノムプロファイリング検査
下肢創傷処置管理料	角膜ジストロフィー遺伝子検査
慢性腎臓病透析予防指導管理料	先天性代謝異常症検査
外来腫瘍化学療法診療料1、連携充実加算	咀嚼能力検査
療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談支援加算	感染症免疫学的検査 抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
開放型病院共同指導料	精密触覚機能検査

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
微生物核酸同定・定量検査 HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	CT撮影及びMRI撮影
微生物核酸同定・定量検査 ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	冠動脈CT撮影加算
検体検査管理加算(IV)	外傷全身CT加算
国際標準検査管理加算	血流予備量比コンピューター断層撮影
遺伝カウンセリング加算	心臓MRI撮影加算
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	乳房MRI撮影加算
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	頭部MRI撮影加算
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	全身MRI撮影加算
胎児心エコー法	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
ヘッドアップティルト試験	連携充実加算
長期継続頭蓋内脳波検査	外来化学療法加算1
脳波検査判断料1	無菌製剤処理料
神経学的検査	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
補聴器適合検査	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
黄斑局所網膜電図,全視野精密網膜電図	歯科口腔リハビリテーション料2
ロービジョン検査判断料	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
コンタクトレンズ検査料1	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
小児食物アレルギー負荷検査	がん患者リハビリテーション料
内服・点滴誘発試験	通院・在宅精神療法の注8に掲げる療養生活継続支援加算
経頸静脈的肝生検	認知療法・認知行動療法1
経気管支凍結生検法	精神科作業療法
画像診断管理加算4	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る)
ポジトロン断層撮影	医療保護入院等診療料
ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	口腔粘膜処置
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯根端切除手術	癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
手術用顕微鏡加算	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
人工腎臓	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
導入期加算3及び腎代替療法実績加算	角結膜悪性腫瘍切除術
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	角膜移植術(内皮移植加算)
血漿交換療法 難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	羊膜移植術
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	緑内障手術(流出路再建術(眼内法))
ストーマ合併症加算	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
歯周組織再生誘導手術	緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
手術時歯根面レーザー応用加算	緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
顎関節人工関節全置換術(歯科)	毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科)	網膜再建術
レーザー機器加算	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術
皮膚悪性腫瘍切除術(皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算を算定する場合)	耳管用補綴材挿入術
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
処理骨再建加算	人工中耳植込術
骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
椎間板内酵素注入療法	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
腫瘍脊椎骨全摘術	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
緊急穿頭血腫除去術	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
内視鏡下脳腫瘍生検術	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
内視鏡下脳腫瘍摘出術	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。 )及び脳刺激装置交換術	乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	補助人工心臓
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	経皮的下肢動脈形成術
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下リンパ節郭清術(後腹膜)
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下リンパ節郭清術(傍大動脈)
気管支バルブ留置術	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	内視鏡的逆流防止粘膜切除術
肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
食道縫合術(穿刺、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等	腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
胸腔鏡下弁形成術	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
経カテーテル大動脈弁置換術	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
胸腔鏡下弁置換術	腹腔鏡下肝切除術
経皮的僧帽弁クリップ術	生体部分肝移植術
不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
経皮的中隔心筋焼灼術	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く。)
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	内視鏡的小腸ポリープ切除術

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	体外式膜型人工肺管理料
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	輸血管管理料 I
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	輸血適正使用加算
腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	コーディネート体制充実加算
腹腔鏡下腎盂形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	自己生体組織接着剤作成術
同種死体腎移植術	自己クリオプレシペート作製術(用手法)
生体腎移植術	同種クリオプレシペート作成術
膀胱水圧拡張術	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	麻酔管理料(I)
尿道狭窄グラフト再建術	麻酔管理料(II)
人工尿道括約筋植込・置換術	麻酔管理料の注に掲げる周術期薬剤管理加算
膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)	放射線治療専任加算
埋没陰茎手術	外来放射線治療加算
精巣温存手術	クラウン・ブリッジ維持管理料
陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	高エネルギー放射線治療
精巣内精子採取術	一回線量増加加算
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	強度変調放射線治療(IMRT)
女子外性器悪性腫瘍手術 センチネルリンパ節生検加算	画像誘導放射線治療(IGRT)
腹腔鏡下仙骨腫固定術	体外照射呼吸性移動対策加算
腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	う蝕歯無痛的窩洞形成加算
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	定位放射線治療
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡用支援機器を用いる場合)	歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算
腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	歯科技工士連携加算2
乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌疾患症候群患者に限る。)	光学印象
子宮付属器腫瘍摘出術(遺伝性乳癌卵巣癌疾患症候群患者に限る。)	画像誘導密封小線源治療加算





(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
潜在的な薬剤性有害事象を自動的に検出する汎用性の高いアルゴリズムに関する研究	森本 剛	臨床研究支援センター	6,630,000	補 日本学術振興会
乳癌における脂質メディエーターを標的とする薬物送達システムを用いた新規治療の開発	永橋 昌幸	乳腺・内分泌外科	6,760,000	補 日本学術振興会
コンピュータビジョンを用いた外科医の意思決定支援システムの実用化に向けた開発研究	篠原 尚	上部消化管外科	5,720,000	補 日本学術振興会
治療抵抗性大腸癌肝転移に対する肝動注塞栓療法	小笠原 篤	放射線医療センター	780,000	補 日本学術振興会
社会的機能尺度を用いた地域におけるひきこもり等困難者発見プロトコルの標準化	山田 恒	精神科神経科	650,000	補 日本学術振興会
細胞外アデニン濃度制御による革新的な固形癌治療法開発のための基礎的研究	小柴 賢洋	臨床検査部	1,040,000	補 日本学術振興会
過敏性腸症候群の身体・精神症状とグルテン感受性の関連及び新規治療手段の検討	前林 憲誠	精神科神経科	1,040,000	補 日本学術振興会
ナノ粒子型油性造影剤を用いたsiRNA送達システムの開発と肝動脈塞栓術への応用	谷口 純一	放射線科	1,430,000	補 日本学術振興会
エクソスキッピング誘導治療の有効性を予測する残存イントロン解析システムの検証	李 知子	小児科	1,170,000	補 日本学術振興会
早期膵癌オルガノイドの樹立による腫瘍進展機構の解明	塩見 英之	肝・胆・膵内科	1,040,000	補 日本学術振興会
核酸医薬を応用した肝癌由来増殖因子を標的とする新たな肝細胞癌治療薬の開発	榎本 平之	肝・胆・膵内科	1,300,000	補 日本学術振興会
腸内細菌叢の攪乱と消化管微小炎症における Reg ファミリー蛋白の役割	福井 広一	消化管内科	650,000	補 日本学術振興会
心不全における心肺連関メカニズムの解明	朝倉 正紀	循環器内科	1,300,000	補 日本学術振興会
菌周病レッドコンプレックスとIgA腎症発症進展機序解明と新規治療法の開発	長澤 康行	総合内科	1,040,000	補 日本学術振興会
HLA半合致移植では、患者とドナーが共有しない方のHLA拘束性T細胞は存在するか	池亀 和博	血液内科	1,430,000	補 日本学術振興会
潰瘍性大腸炎の病態解明に向けた回腸腸炎の細菌叢解析	内野 基	炎症性腸疾患外科	1,170,000	補 日本学術振興会
網羅的ctDNA変異解析モニタリングによる膵癌個別化集学的治療の開発	廣野 誠子	肝・胆・膵外科	650,000	補 日本学術振興会
ICG蛍光イメージングプロジェクションを用いた胃管血流デジタル評価システムの開発	倉橋 康典	上部消化管外科	1,300,000	補 日本学術振興会
重症尿路感染症の抗菌薬治療モニタリングにおける全自動尿中有形成分分析装置の有用性	山本 新吾	泌尿器科	1,340,000	補 日本学術振興会
生物活性脂質メディエーター レゾルビンE2/E3を介する新規抗腫瘍効果の解明	鏑本 浩志	産科婦人科	1,300,000	補 日本学術振興会
妊娠の成立と維持に関する免疫担当細胞の関与の解明と新規治療の開発	福井 淳史	産科婦人科	910,000	補 日本学術振興会
中高生ビロリ菌検診と除菌治療:全国調査による実施の現状と問題点の把握	奥田 真珠美	小児科	520,000	補 日本学術振興会
尿酸代謝と糖代謝異常および糖尿病血管合併症との関連	角田 拓	糖尿病・内分泌・代謝内科	1,040,000	補 日本学術振興会
抗癌剤の用量探索試験のための統計的デザインの新たな展開とその応用	大門 貴志	臨床研究支援センター	1,300,000	補 日本学術振興会
呼吸動態の力学的な理解にもとづいた呼吸器疾患の新規診断法の開発	木島 貴志	呼吸器内科	520,000	補 日本学術振興会
尿素トランスポーターを標的とした尿素依存性浸透圧利尿薬の新機序解明	久間 昭寛	腎・透析内科	1,300,000	補 日本学術振興会
悪性上皮腫の細胞特性に基づく新規治療戦略の確立	佐藤 鮎子	病理診断科	1,300,000	補 日本学術振興会
トランスフェリン受容体1を介した血管病変形成機序の解明と治療法の開発	内藤 由朗	循環器内科	1,560,000	補 日本学術振興会
PETによる免疫チェックポイント阻害剤治療の効果判定と予測:多施設前向き臨床試験	北島 一宏	放射線医療センター	1,170,000	補 日本学術振興会

汎発性膿疱性乾癬続発性有棘細胞癌に共通な新規IL36RN遺伝子変異の役割の解明	金澤 伸雄	皮膚科	1,300,000	補	日本学術振興会
進行再発乳癌におけるエリブリン治療効果予測バイオマーカー探索と新たな治療開発	三好 康雄	乳腺・内分泌外科	1,690,000	補	日本学術振興会
末梢血を用いた免疫チェックポイント阻害剤効果予測法の開発	中村 晃史	呼吸器外科	1,300,000	補	日本学術振興会
細胞間質ゲル構造に注目したヒドロキシエチルデンプンによる手術侵襲時の炎症制御	多田 羅 恒雄	手術センター	2,600,000	補	日本学術振興会
全身麻酔における侵害受容モニターの開発とその有用性の検討	廣瀬 宗孝	麻酔科・疼痛制御科	1,170,000	補	日本学術振興会
ウイルス性敗血症を中心とした水素のNETs抑制効果検討	小濱 圭祐	救急科	1,820,000	補	日本学術振興会
ヒト臍帯血由来血管血球系幹細胞を用いた脳梗塞後遺症に対する細胞治療研究	山原 研一	輸血・細胞治療センター	1,300,000	補	日本学術振興会
脳出血に対する臍帯由来間葉系幹細胞を用いた新規治療方法開発とその作用機序の解明	吉村 紳一	脳神経外科	1,430,000	補	日本学術振興会
中心性漿液性脈絡網膜症の病期別視機能異常の検証と評価法の構築	五味 文	眼科	1,560,000	補	日本学術振興会
口腔癌のpartial-EMTを介した浸潤・転移に関わるバイオマーカーの探索	野口 一馬	歯科口腔外科	1,040,000	補	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌の浸潤・転移におけるL1CAM発現の解析およびその影響	吉川 恭平	歯科口腔外科	1,300,000	補	日本学術振興会
CBR matrixを用いた慢性循環器疾患患者の社会的処方支援アプリの開発	高橋 敬子	循環器内科	1,300,000	補	日本学術振興会
睡眠の「質」の低下による代謝、認知領域への影響に関する基礎的検討	角谷 学	糖尿病・内分泌・代謝内科	1,950,000	補	日本学術振興会
2型糖尿病患者における糖代謝、睡眠障害、心血管疾患の相互関連	楠 宜樹	糖尿病・内分泌・代謝内科	390,000	補	日本学術振興会
COVID-19におけるawake proningの有効性と胸部画像重症度の関連	竹田 倫世	リハビリテーション科	780,000	補	日本学術振興会
赤ワインによるTRPチャネルを介した血小板機能抑制の新しい分子メカニズム	丸茂 幹雄	血液内科	1,820,000	補	日本学術振興会
糖質コルチコイド処理による未分化メモリーCAR-T細胞の誘導と抗腫瘍効果の向上	井上 貴之	血液内科	1,300,000	補	日本学術振興会
回避・制限性食物摂取障害のグルテン感受性とグルテンフリー食による治療有効性の検討	吉村 知穂	精神科神経科	1,560,000	補	日本学術振興会
インフラマソームを中心とした末梢炎症がうつ病を引き起こす機序解明と治療戦略の模索	山西 恭輔	精神科神経科	1,820,000	補	日本学術振興会
ラジオ波凝固範囲の拡大に寄与する金属ナノ粒子送達システムの開発	加古 泰一	放射線科	1,820,000	補	日本学術振興会
ラジオ波凝固治療を軸にしたガン複合免疫療法の開発	高木 治行	放射線科	1,430,000	補	日本学術振興会
循環血中セルフリーRNAをバイオマーカーとした筋ジストロフィー治療評価系の検証	竹島 泰弘	小児科	1,820,000	補	日本学術振興会
小児腎悪性腫瘍の治療個別化に有効なバイオマーカーを同定するための多施設共同研究	大植 孝治	小児外科	910,000	補	日本学術振興会
炎症性腸疾患新規マーカーLRGによる糖鎖を介した腸炎制御機構の解明	新崎 信一郎	消化管内科	1,950,000	補	日本学術振興会
大動脈瘤の拡大におけるクローン性造血の役割	関 庚徳	循環器内科	1,170,000	補	日本学術振興会
自然免疫の活性化により小細胞肺癌の抗癌剤耐性克服を目指す新たな治療戦略の確立	南 俊行	呼吸器内科	1,430,000	補	日本学術振興会
睡眠の「質」低下は心・代謝関連にどのようなメカニズムで影響するのか？	小山 英則	糖尿病・内分泌・代謝内科	1,170,000	補	日本学術振興会
外科臨床実習の効率化をもたらすAI支援システムの開発	石田 善敬	上部消化管外科	1,300,000	補	日本学術振興会
尿中インドキシル硫酸の炎症性腸疾患領域における新規バイオマーカーとしての可能性	池内 浩基	炎症性腸疾患外科	520,000	補	日本学術振興会
ポリエチレングリコールからなるハイドロゲルを用いた気道系の損傷修復の新規開発	近藤 展行	呼吸器外科	1,690,000	補	日本学術振興会
ピグアナイド、SGLT2阻害薬と手術侵襲で起こるアシドーシスの臨床基礎両面からの検討	植木 隆介	麻酔科・疼痛制御科	1,170,000	補	日本学術振興会
瞳孔による客観的な疼痛評価法の確立	佐藤 史弥	麻酔科・疼痛制御科	2,730,000	補	日本学術振興会

女性ホルモン類似物質はCOVID-19肺炎の重症化を抑制できるか	村上 博基	救急科	1,040,000	補	日本学術振興会
めまいを伴う耳管開放症の病態解明	大田 重人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補	日本学術振興会
創傷治癒過程におけるエクソソームの基礎研究	河合 建一郎	形成外科	1,430,000	補	日本学術振興会
トリプルネガティブ乳癌におけるTP53と脂質分子の相補的な細胞制御機構の解明	永橋 昌幸	乳腺・内分泌外科	1,820,000	補	日本学術振興会
フレイル状態変化に基づくヒト老化制御因子としてのエクソソームmicroRNA探索	新村 健	総合内科	2,730,000	補	日本学術振興会
耐糖能、肥満・内臓脂肪、自律神経機能と心左室拡張機能に関する前向きコホート研究	森本 晶子	糖尿病・内分泌・代謝内科	390,000	補	日本学術振興会
OSNA法による大腸癌リンパ節転移進展形式の同定	片岡 幸三	下部消化管外科	1,430,000	補	日本学術振興会
小児糖尿病の尿中落下細胞VEGFスプライシングアイソフォームの解析と腎症予防	にえ川 智美(落合 智美)	小児科	780,000	補	日本学術振興会
肝細胞癌に対する薬物治療の効果とvessel co-optionの関連	奥野 将之	肝・胆・膵外科	1,170,000	補	日本学術振興会
脊髄刺激療法による脊髄後角での鎮痛に関する分子発現変化の解明	奥谷 博愛	麻酔科・疼痛制御科	1,040,000	補	日本学術振興会
ケロイドの慢性炎症と老化細胞の関係について	石瀬 久子	形成外科	910,000	補	日本学術振興会
炎症惹起顎骨壊死モデルを用いた抗G-CSF中和抗体によるARONJ新規治療の探索	上田 美帆	歯科口腔外科	1,690,000	補	日本学術振興会
糖尿病患者における糖代謝、睡眠障害と心左室拡張機能障害の関連	大東 真菜	糖尿病・内分泌・代謝内科	1,300,000	補	日本学術振興会
モデルの誤指定に対して頑健な適応的デザインの開発	井桁 正堯	臨床研究支援センター	1,300,000	補	日本学術振興会
Vogt-Koyanagi-Harada病の画像処理による病態、再発の検討	小椋 有貴(山本 有貴)	眼科	520,000	補	日本学術振興会
CD276 発現 M2マクロファージを標的とした転移性脳腫瘍の発症制御	阪本 大輔	脳神経外科	1,560,000	補	日本学術振興会
血液メタボローム解析を用いた、IPMNの膵癌予測バイオマーカーの確立	中野 遼太	肝・胆・膵内科	910,000	補	日本学術振興会
オミクス解析による慢性心不全患者の骨髄造血障害のメカニズムの検討	真鍋 恵理	循環器内科	1,430,000	補	日本学術振興会
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症におけるcfDNAの好酸球からの放出と炎症への関与	橋本 哲平	アレルギー・リウマチ内科	1,040,000	補	日本学術振興会
食物アレルギーにおけるIL-33スプライシング・アイソフォームの検討	藤野 哲朗	小児科	1,040,000	補	日本学術振興会
頸椎後縦靭帯骨化症の病態機序を考慮した創薬ターゲット探索研究	立林 洸太郎	脳神経外科	1,430,000	補	日本学術振興会
胎児付属器間葉系幹細胞を用いたくも膜下出血後神経損傷並びに脳血管攣縮の治療法開発	白川 学	脳神経外科	1,560,000	補	日本学術振興会
変形性膝関節症に対する間葉系幹細胞治療の除痛メカニズムの解明	井石 智也	整形外科	1,300,000	補	日本学術振興会
脱細胞化ヒト卵巣組織による人工卵巣の開発	脇本 裕	産科婦人科	1,040,000	補	日本学術振興会
上肢リハビリテーション支援ロボットのアシスト量の定量化と課題難易度の関連性の解明	内山 侑紀	リハビリテーション科	520,000	補	日本学術振興会
肝内胆管癌における腫瘍抑制性癌関連線維芽細胞の同定および腫瘍抑制メカニズムの解明	藤 浩明	肝・胆・膵外科	1,820,000	補	日本学術振興会
胃切除後症候群に対する客観的治療指標(残胃運動機能分類)の開発	中村 達郎	上部消化管外科	1,040,000	補	日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫におけるアンチエイジング遺伝子Klotho発現の解析と臨床応用	竹ヶ原 京志郎	呼吸器外科	1,170,000	補	日本学術振興会
膈帯由来間葉系幹細胞を用いた脊髄損傷への経静脈的な新規治療法の開発	陰山 博人	脳神経外科	1,820,000	補	日本学術振興会
CD276 発現マクロファージを標的とした新規脳梗塞ペナンプラ保護療法の検討	内田 和孝	脳卒中センター	2,080,000	補	日本学術振興会
ヒト脳出血から誘導される幹細胞を用いた神経再生治療の研究	藏本 要二	脳神経外科	1,950,000	補	日本学術振興会
骨リモデリング微小環境老化細胞におけるcGAS-STING経路の活性化	服部 洋一	歯科口腔外科	1,430,000	補	日本学術振興会

大腸がんの転移に寄与する腫瘍代謝メカニズムの解明	大島 健司	病理診断科	1,430,000	補	日本学術振興会
アデノ随伴ウイルス(AAV)を用いた生体内短期間リプログラミングの確立	庄嶋 健作	総合内科	1,430,000	委	日本学術振興会
口腔がんの発生および転移に対する口腔内微生物叢の関与	埴 荘太郎	歯科口腔外科	480,000	委	日本学術振興会
経口気管挿管患者の口腔ケア時に咽頭および環境に飛散する細菌量の計測	河田 尚子	歯科口腔外科	470,000	補	日本学術振興会
フレイル高齢心臓外科手術予定患者に対する包括的術前リハビリテーションの効果の検証	本田 陽亮	リハビリテーション技術部	330,000	補	日本学術振興会
HIV感染血友病患者の救急対応の課題解決のための研究	日笠 聡	輸血・細胞治療センター	8,200,000	補	厚生労働省
自己免疫制御を機序とする新規シェーグレン症候群治療薬の探索(DNW-18014)	西浦 弘志	病理診断科	13,600,000	委	日本医療研究開発機構
臨床研究者による活用を目指した臨床研究技能と研究公正の統合学修の実用化	森本 剛	臨床研究支援センター	11,700,000	委	日本医療研究開発機構
強迫症を対象とした新規認知行動療法アプリ開発	向井 馨一郎	精神科神経科	59,500,000	委	日本医療研究開発機構
Injectable cell scaffold (ICS-001) をいた・新的・管新・療法の開発	山原 研一	輸血+D61:D107・細胞治療センター	104,000,000	委	日本医療研究開発機構

計10

- (注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

合計103

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Ueda Tomoko, Tsubamoto Hiroshi, Takimoto Yumi 他	産科婦人科	Comprehensive Genomic Profiling Detects Hereditary Cancers and Confers Survival Advantage in Patients With Gynaecological Cancers	ANTICANCER RESEARCH. 2023May; 43: 2091	Original Article
2	Ayako Takagi, Yoshiki Kusunoki, Mana Ohigashi 他	糖尿病・内分泌・代謝内科	Association between continuous glucose monitoring-derived glycemic control indices and urinary biomarkers of diabetic kidney disease: Hyogo Diabetes Hypoglycemia Cognition Complications study	Acta Diabetologica. 2023Nov; 60:	Original Article
3	Akagi Naoki, Kanematsu Akihiro, Shigesaka Koji 他	泌尿器科	Prostate Biopsy May Not Be Indicated Early after Bacillus Calmette Guérin Treatment.	Acta medica Okayama. 2024Feb; 78: 9	Original Article
4	Okawa K, Taya S, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Cardiovascular events and death after catheter ablation in very old patients with nonvalvular atrial fibrillation.	Aging. 2023Aug; 15: 7343	Original Article
5	Hosotani Yuka, Yasuda Koubun, Nagai Makoto 他	皮膚科	IL-33-induced keratoconjunctivitis is mediated by group 2 innate lymphoid cells in mice	Allergology International. 2023Apr; 72: 324	Original Article
6	Yaku H, Kato T, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Rationale and study design of the GOREISAN for heart failure (GOREISAN-HF) trial: A randomized clinical trial.	American heart journal. 2023Jun; 260: 18	Original Article
7	Sudo Y, Morimoto T, Tsushima R 他	臨床研究支援センター	P-wave terminal force in lead V1 and outcomes in patients with persistent atrial fibrillation undergoing catheter ablation.	American heart journal. 2023Jun; 260: 141	Original Article
8	Yamamoto K, Morimoto T, Natsuaki M 他	臨床研究支援センター	Statin Discontinuation After Coronary Revascularization.	The American journal of cardiology. 2023Nov; 207: 479	Original Article
9	Gohbara M, Hibi K, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	SYNTAX Score and 1-Year Outcomes in the OPTIVUS-Complex PCI Study Multivessel Cohort.	The American journal of cardiology. 2023Oct; 205: 431	Original Article
10	Obayashi Y, Shiomi H, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	The Impact of Mitral Regurgitation on Long-Term Outcomes in Acute Myocardial Infarction Undergoing Percutaneous Coronary Intervention.	The American journal of cardiology. 2023Sep; 203: 384	Original Article
11	Kaneda K, Shiomi H, Abe M 他	臨床研究支援センター	Post-contrast Acute Kidney Injury After Emergent and Elective Percutaneous Coronary Intervention (from the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort 3).	The American journal of cardiology. 2023Sep; 202: 58	Original Article
12	Nakanishi Takashi, Kuragano Takahiro	臨床研究支援センター	Safety and Effectiveness of Apixaban Versus Warfarin in Japanese Patients with Nonvalvular Atrial Fibrillation Stratified by Renal Function: A Retrospective Cohort Study.	American journal of cardiovascular drugs : drugs, devices, and other interventions. 2023Oct; 23: 721	Original Article
13	Imano N, Shojima K, Tamaki K 他	総合内科	Estrogen contributes to the sex difference in the occurrence of senescence-related T cells during the development of visceral adipose tissue inflammation.	American journal of physiology. Heart and circulatory physiology. 2023Apr; 324: H662	Original Article
14	Gomi F, Kawasaki R, Ogura Y 他	眼科	Patterns of anti-vascular endothelial growth factor treatment for choriorretinal vascular diseases: Analysis of a nationwide claims database in Japan	Ann Clin Epidemiol. 2024Jan; 6: 42	Original Article
15	Yoshiki Okita, Yuji Toiyama, Hiroki Ikeuchi 他	炎症性腸疾患外科	Possible poor prognosis in younger-onset Crohn's disease-associated anorectal cancer: A subanalysis of the Nationwide Japanese study	Annals of Gastroenterological Surgery. 2024Jan; 00: 1	Original Article
16	Taniguchi T, Morimoto T, Yamaji K 他	臨床研究支援センター	Life Expectancy of Patients With Severe Aortic Stenosis in Relation to Age and Surgical Risk Score.	The Annals of thoracic surgery. 2023Dec; 116: 1195	Original Article
17	Sawai Tatsuo, Yamanegi Koji, Nishiura Hiroshi 他	整形外科	Sodium Valproate Enhances Semaphorin 3A-mediated Anti-angiogenesis and Tumor Growth Inhibition in Human Osteosarcoma Cells.	Anticancer research. 2023Jun; 43: 2539-50	Original Article
18	Koyama Hidenori, Kadoya Manabu	遺伝子医療部	Preconception education program for non-invasive prenatal testing focused on interest in genetics among female university students in Japan: a quasi-experimental study comparing pre-intervention, post-intervention, and three-month follow-up results	Archives of Public Health. 2023Jul; 81:	Original Article
19	Futani Hiroyuki, Kawaguchi Takayuki, Sawai Tatsuo 他	整形外科	Osteoscopic versus open surgery for the treatment of enchondroma in the foot.	Archives of orthopaedic and trauma surgery. 2023Aug; 143: 4899-905	Original Article
20	Huang BB, Fukuyama H, Burns SA 他	眼科	Imaging the Retinal Vascular Mural Cells In Vivo: Elucidating the Timeline of Their Loss in Diabetic Retinopathy	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2024Feb; 44: 465	Original Article
21	Kanto Ryo, Yamaguchi Motoi, Yoshiya Shinichi 他	整形外科	Postoperative tunnel widening, elliptical aperture shape, and no preservation of the remnant are related to the tendon graft-bone tunnel gap formation at the intra-articular aperture after double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction.	Arthroscopy, sports medicine, and rehabilitation. 2023Apr; 5: e507-14	Original Article
22	Kondoh Nobuyuki, Kaizuka Yohei, Nagasawa Seiji 他	泌尿器科	Predictive factors for efficacy of testosterone replacement therapy for late-onset hypogonadism in Japanese men: a preliminary report.	Asian journal of andrology. 2023Apr; 25: 587	Original Article
23	Kobayashi Masayoshi, Miwa Takaki, Mori Eri 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Efficacy of tokishakuyakusan and mecobalamin on post-infectious olfactory dysfunction. A prospective multicenter study.	Auris Nasus Larynx. 2024Feb; 51: 99	Original Article
24	Nin Tomomi, Tsuzuki Kenzo, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Diagnosis and treatment of taste disorders in Japan.	Auris Nasus Larynx. 2024Feb; 51: 1	Original Article
25	Okumura Satoshi, Saito Takahiro, Okazaki Ken 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Clinical features of olfactory dysfunction in elderly patients.	Auris Nasus Larynx. 2023Apr; 50: 241	Original Article
26	Fushimi Katsuya, Gyo Kiyofumi, Okunaka Mieko 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Analysis of risk factors for post-tonsillectomy hemorrhage in adults.	Auris Nasus Larynx. 2023Jun; 50: 389	Original Article
27	Ryuichi Kuwahara, Hiroki Ikeuchi, Kurando Kusunoki 他	炎症性腸疾患外科	Clinical features and surgical selection in colitis-associated colorectal cancer with ulcerative colitis	BMC surgery. 2023Aug; 23: 256	Original Article
28	Akinori Kanzaki, Manabu Kadoya, Satoru Katayama 他	糖尿病・内分泌・代謝内科	Syndrome of inappropriate antidiuretic hormone with recurrent giant cabergoline-resistant prolactinoma	BMJ Case Rep. 2023Sep; 16: e255422	Case report
29	Inoue Chikako, Kusunoki Yoshiki, Ohigashi Mana 他	糖尿病・内分泌・代謝内科	Association between brain imaging biomarkers and continuous glucose monitoring-derived glycemic control indices in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus	BMJ Open Diabetes Res Care. 2024Jan; 12: e003744	Original Article

計 29 件

30	Nakanishi Masa,Goto Ayako,Iwasaki Takahide 他	腎・透析内科	Effect of iron administration on the aortic iron content and vascular calcification in phosphorus-loaded chronic kidney disease rats.	BioMed Central nephrology. 2023Dec; 24: 373	Original Article
31	Dasen Ye,Akio Miyoshi ,Tomoe Ushitani 他	糖尿病・内分泌・代謝内科	RAGE in circulating immune cells is fundamental for hippocampal inflammation and cognitive decline in a mouse model of latent chronic inflammation	Brain, Behavior, and Immunity. 2024Feb; : 329	Original Article
32	Ye Dasen, Miyoshi Akio, Ushitani Tomoe 他	糖尿病・内分泌・代謝内科	RAGE in circulating immune cells is fundamental for hippocampal inflammation and cognitive decline in a mouse model of latent chronic inflammation	Brain, behavior, and immunity. 2024Feb; 116: 329	Original Article
33	Kozo Kataoka, Kanae Takahashi, Jiro Takeuchi 他	下部消化管外科	Correlation between recurrence-free survival and overall survival after upfront surgery for resected colorectal liver metastases	British Journal of Surgery. 2023Jul; 110: 864	Original Article
34	Hayashi Yoshinori, Makino Tomoki, Sato Eiichi 他	病理診断科	Density and maturity of peritumoral tertiary lymphoid structures in esophageal squamous cell carcinoma predicts patient survival and response to immune checkpoint inhibitors.	British journal of cancer. 2023Jun; 128: 2175	Original Article
35	Kozo Kataoka,Kanae Takahashi, Jiro Takeuchi 他	臨床研究支援センター	Author response to: Comment on: Correlation between recurrence-free survival and overall survival after upfront surgery for resected colorectal liver metastases	The British journal of surgery. 2023Aug; : 9	Original Article
36	Sato Tatsuhiko, Akao Ken,Sato Ayuko 他	病理診断科	Aberrant expression of NPPB through YAP1 and TAZ activation in mesothelioma with Hippo pathway gene alterations.	Cancer medicine. 2023May; 12: 13586	Original Article
37	Kitajima Kazuhiro, Kuyama Junpei, Kawahara Takashi 他	放射線医療センター	Assessing Therapeutic Response to Radium-223 with an Automated Bone Scan Index among Metastatic Castration-Resistant Prostate Cancer Patients: Data from Patients in the J-RAP-BSI Trial.	Cancers. 2023May; 15: 2784	Original Article
38	Kikuchi K, Takaki H, Matsumoto K 他	放射線科	Radioprotective Effects of a Semicircular X-ray Shielding Device for Operators During CT Fluoroscopy-Guided Interventional Procedures: Experimental and Clinical Studies.	Cardiovascular and interventional radiology. 2023May; 46: 770	Original Article
39	Takeji Y, Taniguchi T, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	In-hospital outcomes after SAVR or TAVI in patients with severe aortic stenosis.	Cardiovascular intervention and therapeutics. 2024Jan; 39: 65	Original Article
40	Kawarada Osami, Otsuka Fumiyki,Miki Kojiro 他	循環器内科	Heterogeneous vascular response after implantation of bare nitinol self-expanding stents in the swine femoropopliteal artery.	Cardiovascular intervention and therapeutics. 2023Apr; 38: 210	Original Article
41	Shiomi H, Kozuma K,Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Ten-year clinical outcomes from a randomized trial comparing new-generation everolimus-eluting stent versus first-generation Sirolimus-eluting stent: Results from the RESET extended study.	Catheterization and cardiovascular interventions : official journal of the Society for Cardiac Angiography & Interventions. 2023Aug; 102: 594	Original Article
42	Hirano Yoshinobu,Nakagomi Takayuki,Nakano-Doi Akiko 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Microglia negatively regulate the proliferation and neuronal differentiation of neural stem/progenitor cells isolated from poststroke mouse brains	Cells. 2023Aug; 12:	Original Article
43	Hirano Yoshinobu, Nakagomi Takayuki,Nakano-Doi Akiko 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Microglia negatively regulate the proliferation and neuronal differentiation of neural stem/progenitor cells isolated from post stroke mouse brains.	Cells. 2023Jul; 12:	Original Article
44	Hirano Yoshinobu, Nakagomi Takayuki, Nakano-Doi Akiko 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Microglia negatively regulate the proliferation and neuronal differentiation of neural stem/progenitor cells isolated from post stroke mouse brains	Cells. 2023Aug; 12:	Original Article
45	Fujimoto H, Hasegawa T, 他	眼科	Reversible inhibition of the basal ganglia prolongs repetitive vocalization but only weakly affects sequencing at branch points in songbirds	Cereb Cortex Commun. 2023Aug; 4: tgad016	Original Article
46	Koyanagi M, Hatano T,Uchida K 他	脳卒中センター	Safety of Apixaban Monotherapy for Non-Valvular Atrial Fibrillation-Related Acute Stroke with Intra-/Extracranial Artery Stenosis.	Cerebrovascular diseases (Basel, Switzerland). 2023May; 52: 255	Original Article
47	Nagasawa Yasuyuki	小児科	A Pediatric Case of COLQ-Related Congenital Myasthenic Syndrome with Marked Fatigue.	Children (Basel, Switzerland). 2023Apr; 10: 769	Case report
48	Natsuaki M, Watanabe H,Morimoto T 他	臨床研究支援センター	An Aspirin-Free Versus Dual Antiplatelet Strategy for Coronary Stenting: STOPDAPT-3 Randomized Trial.	Circulation. 2024Apr; 149: 585	Original Article
49	Yamashita Y,Morimoto T, Muraoka N 他	臨床研究支援センター	Edoxaban for 12 Months Versus 3 Months in Patients With Cancer With Isolated Distal Deep Vein Thrombosis (ONCO DVT Study): An Open-Label, Multicenter, Randomized Clinical Trial.	Circulation. 2023Nov; 148: 1665	Original Article
50	Watanabe H,Morimoto T, Yamamoto K 他	臨床研究支援センター	Prevalence and Effects of High-Intensity Statins for Japanese Patients Presenting With Acute Coronary Syndrome-A Post Hoc Secondary Analysis of STOPDAPT-2 ACS.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society. 2023Apr; 87: 657	Original Article
51	Yamamoto K, Shiomi H,Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Comparison of the OPTIVUS-Complex PCI Multivessel Cohort With the Historical CREDO-Kyoto Registry Cohort-3.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society. 2023Oct; 87: 1689	Original Article
52	Yamamoto K, Shiomi H,Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Dual Antiplatelet Therapy Duration After Multivessel Optimal Intravascular Ultrasound-Guided Percutaneous Coronary Intervention.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society. 2023Oct; 87: 1661	Original Article
53	Yamamoto K, Shiomi H,Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Target Lesion Revascularization After Intravascular Ultrasound-Guided Percutaneous Coronary Intervention.	Circulation. Cardiovascular interventions. 2023Sep; 16: e013439	Original Article
54	Yamamoto K, Shiomi H, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Target Lesion Revascularization After Intravascular Ultrasound-Guided Percutaneous Coronary Intervention.	Circulation. Cardiovascular interventions. 2023May; 16: e012922	Original Article
55	Hashimoto Teppi, Yoshida Kohsuke, Yokoyama Yuichi 他	アレルギー・リウマチ内科	Tocilizumab suppresses NF-kappa B activation via toll-like receptor 9 signaling by reducing cell-free DNA in rheumatoid arthritis.	Clinical and experimental immunology. 2023Jul; 213: 209	Original Article
56	Wada Y, Shojima K, Tamaki K 他	総合内科	Association Between Timed Up-and-Go Test and Future Changes in the Frailty Status in a Longitudinal Study of Japanese Community-Dwelling Older Adults.	Clinical interventions in aging. 2023Jul; 18: 1191	Original Article
57	Nakanishi Takeshi, Kuragano Takahiro, 他	腎・透析内科	Growing concerns about using hypoxia-inducible factor prolyl hydroxylase inhibitors for the treatment of renal anemia.	Clinical kidney journal. 2024Feb; 17: sfae051	Original Article
58	Sato Toshiyuki, Uchino Motoi, Takeuchi Jiro 他	炎症性腸疾患外科	Short-term clinical evaluation of teduglutide for patients with Crohn's disease on home parenteral support for postoperative short bowel syndrome with intestinal failure	Clinical nutrition (Edinburgh, Scotland). 2023May; 42: 722	Original Article
59	Maruo Keishi, Arizumi Fumihiro, Kishima Kazuya 他	整形外科	Effects of perioperative teriparatide treatment on the hounsfield unit values at the upper instrumented vertebra in adult spinal deformity surgery.	Clinical spine surgery. 2023Jul; 36: E234-8	Original Article
60	Nakai Takuya, Takeda Yu, Niitsu Saori 他	整形外科	Comparative study for postoperative initial fixation patterns of two different types of cementless short stem using three-dimensional templating software.	Clinics in orthopedic surgery. 2024Feb; 16: 23-33	Original Article
61	Arizumi Fumihiro, Maruo Keishi, Kishima Kazuya 他	整形外科	Minimally invasive thoracic-lumbar stabilization surgery for infected charcot spine arthropathy (ICSA) after spinal cord injury.	Cureus. 2024Feb; 16: e55039	Original Article

62	Omote Maya., Wakimoto Yu., Shibahara Hiroaki 他	産科婦人科	Possible Role of 5-Hydroxytryptamine (5-HT) Receptor on Human Sperm Motility Regulation	Cureus. 2023Nov; 15:	Original Article
63	Maeda Y, Takata M, Gomi F 他	眼科	Choroidal Thickness is Increased following Restraint Stress in Rats	Curr Eye Res. 2023May; 48: 506	Original Article
64	Mitsunari Maruyama, Haruyuki Takaki, Naoko Yamada 他	放射線科	Liver regeneration after portal vein embolization: comparison between absolute ethanol and N-butyl-cyanoacrylate in an in vivo rat model.	Diagnostic and interventional radiology (Ankara, Turkey). 2023Jul; 29: 621-627	Original Article
65	Miyamoto Shoko, Imai Yasutomo, Matsutani Masako 他	皮膚科	Exploration of metabolite biomarkers to predict the efficacy of dupilumab treatment for atopic dermatitis	Disease Markers. 2023Nov; 9013756:	Original Article
66	Naohito Beppu, Jihyung Song, Yuuya Takenaka 他	下部消化管外科	Transanal Minimally Invasive Surgical Approach to Total Pelvic Exenteration	Disease of the Colon and Rectum. 2023Oct; 66: e951	Others
67	Nishikawa R, Kato T, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	The characteristics and outcomes in patients with acute heart failure who used tolvaptan: from KCHF registry.	ESC heart failure. 2023Aug; 10: 3141	Original Article
68	Obayashi Y, Kato T, Yaku H 他	臨床研究支援センター	Tricuspid regurgitation in elderly patients with acute heart failure: insights from the KCHF registry.	ESC heart failure. 2023Jun; 10: 1948	Original Article
69	Seko Y, Kato T, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Association between changes in loop diuretic dose and outcomes in acute heart failure.	ESC heart failure. 2023Jun; 10: 1757	Original Article
70	Natsuaki M, Watanabe H, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Biodegradable or durable polymer drug-eluting stents in patients with coronary artery disease: ten-year outcomes of the randomised NEXT Trial.	EuroIntervention : journal of EuroPCR in collaboration with the Working Group on Interventional Cardiology of the European Society of Cardiology. 2023Aug; 19: e402	Original Article
71	Takahashi M, Morimoto T, Tsushima R 他	臨床研究支援センター	Serial changes in the trends of direct oral anticoagulant use and incidence of thromboembolisms and major bleeding events in very old patients with non-valvular atrial fibrillation.	European heart journal open. 2023Oct; 3: eoad107	Original Article
72	Kaneda K, Yamashita Y, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Anticoagulation strategies and long-term recurrence in patients with venous thromboembolism in the era of direct oral anticoagulants.	European journal of internal medicine. 2023Dec; 118: 59	Original Article
73	Kitajima Kazuhiro, Igeta Masataka, Kuyama Junpei 他	放射線医療センター	Novel nomogram developed for determining suitability of metastatic castration-resistant prostate cancer patients to receive maximum benefit from radium-223 dichloride treatment-Japanese Ra-223 Therapy in Prostate Cancer using Bone Scan Index (J-RAP-BSI) Trial.	European journal of nuclear medicine and molecular imaging. 2023Apr; 50: 1487	Original Article
74	Okutani H, Lo Vecchio S, Arendt-Nielsen L 他	麻酔科・疼痛制御科	Mechanisms and treatment of opioid-induced pruritus: Peripheral and central pathways.	European journal of pain (London, England). 2023Aug; 28: 214	Review
75	Maruo Keishi, Arizumi Fumihiro, Kishima Kazuya 他	整形外科	Patient-specific guide systems decrease the major perforation rate of pedicle screw placement in comparison to the freehand technique for adolescent idiopathic scoliosis.	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the	Original Article
76	Kimura T, Shinmura K, 他	総合内科	Questionnaire survey of geriatricians and primary care physicians' approaches to treating older patients with multimorbidity.	Geriatrics & gerontology international. 2023Aug; 23: 628	Original Article
77	Goto T, Kimura A, Masuda A 他	眼科	Clinical features of double seronegative ocular myasthenia gravis	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2024Feb; Epub ahead of print:	Original Article
78	Koizumi H, Gomi F, Tsujikawa A 他	眼科	Efficacy, durability, and safety of faricimab up to every 16 weeks in patients with neovascular age-related macular degeneration: 2-year results from the Japan subgroup of the phase III TENAYA trial	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2024Mar; Epub ahead of print: 999	Original Article
79	Okita Y, Kimura A, Masuda A 他	眼科	Yearly changes in cases of acute acquired comitant esotropia during a 12-year period	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2023Apr; 17: 1	Original Article
80	Imai A, Fukuyama H, Gomi F 他	眼科	Comparison of the detection of metamorphopsia between Amsler chart and M-CHARTS	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.. 2023May; 261: 1503	Others
81	Isono-Taniguchi Roze., Tsubamoto Hiroshi., Inoue Kayo. 他	産科婦人科	Weight-Loss Interventions and Levonorgestrel Intrauterine System Implantation for Early-Stage Endometrial Cancer and Atypical Endometrial Hyperplasia to Reduce Perioperative Risk of Severely Obese Patients	Gynecology and Minimally Invasive Therapy. 2023Jul; 12: 175	Original Article
82	Hikasa S, Shimabukuro S, Hideta K 他	薬剤部	Comparison between the impact of tenofovir alafenamide and that of abacavir on rapid kidney function decline: A retrospective observational study.	HIV medicine. 2023Apr; 24: 422	Original Article
83	Mari Nezu, Shinichiro Ueda, Kazutaka Uchida 他	脳卒中センター	Association between body mass index and long-term clinical outcomes in patients with non-valvular atrial fibrillation taking oral anticoagulants	Heart Vessels. 2023Apr; 38: 551	Original Article
84	Orihara Yoshiyuki, Asakura Masanori, Min Kyung-Duk 他	循環器内科	Mean pulmonary artery pressure estimated by echocardiogram rapidly exceeds 20 mmHg from the normal range in patients with connective tissue disease.	Heart and vessels. 2023Apr; 38: 1172	Original Article
85	Nezu M, Ueda S, Uchida K 他	脳卒中センター	Association between body mass index and long-term clinical outcomes in patients with non-valvular atrial fibrillation taking oral anticoagulants.	Heart and vessels. 2023Apr; 38: 551	Original Article
86	Soejima H, Ogawa H, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Dipeptidyl peptidase-4 inhibitors reduce the incidence of first cardiovascular events in Japanese diabetic patients.	Heart and vessels. 2023Jul; 38: 1371	Original Article
87	Kobayashi Natsuko, Tada Toshifumi, Nishimura Takashi 他	内視鏡センター	Metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease criteria may underestimate the number of lean female nonalcoholic fatty liver disease patients with significant liver fibrosis	Hepatology Research. 2023Nov; :	Original Article
88	Iijima Hiroko, Kudo Masatoshi, Kubo Sshoji 他	肝疾患センター	Report of the 23rd Nationwide Follow-Up Survey of Primary Liver Cancer in Japan (2014-2015).	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology. 2023Aug; 53: 895	Letter
89	Tokunaga S, Shimomura H, Taniguchi N 他	小児科	A novel DLG4 variant causes DLG4-related synaptopathy with intellectual regression.	Human genome variation. 2024Jan; 11: 1	Case report
90	Taguchi Motohiro, Kanematsu Akihiro, Yamamoto Shingo 他	泌尿器科	Partial excisional tapering: Report of initial four cases of a novel modification of ureteroplasty for megaureter.	IJU case reports. 2024Jan; 7: 22	Case report
91	Zhou X, Fukuyama H, Sugisawa T 他	眼科	Pupillary Light Reflex and Multimodal Imaging in Patients With Central Serous Chorioretinopathy	IOVS. 2023Oct; 64: 28	Original Article
92	Noguchi Kazuteru, Furukawa Tetsuya, Tatsumi Yoshiki 他	アレルギー・リウマチ内科	Involvement of YKL-40-positive macrophages commonly identified in polymyositis and dermatomyositis in the pathogenesis of myositis: a retrospective study.	Immunological medicine. 2023Oct; 47: 37	Original Article
93	Enomoto Hirayuki, Nishimura Takashi, Fukunishi Shinya 他	肝・胆・膵内科	Determination of the Possible Target Genes of Hepatoma-derived Growth Factor in Hepatoma Cells	In vivo (Athens, Greece). 2023Sep; 37: 1975	Original Article

94	Junichi Taniguchi, Haruyuki Takaki, Hiroshi Kodama 他	放射線科	Clinical Utility of Bland Embolization Using Microspheres for Painful Malignant Musculoskeletal Tumors.	In vivo (Athens, Greece). 2023Jul; 37: 1816-1821	Original Article
95	Nezu M, Sakuma M, Nakamura T 他	臨床研究支援センター	Monitoring for adverse drug events of high-risk medications with a computerized clinical decision support system: a prospective cohort study.	International journal for quality in health care : journal of the International Society for Quality in Health Care. 2023Dec; 35: mzad095	Original Article
96	Sakuma M, Morimoto T, 他	臨床研究支援センター	Patient-reported outcomes for quality of care among pediatric patients.	International journal for quality in health care : journal of the International Society for Quality in Health Care. 2023May; 35: mzad020	Original Article
97	Takahashi K, Yamashita Y, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Age and long-term outcomes of patients with venous thromboembolism: From the COMMAND VTE Registry.	International journal of cardiology. 2023Jul; 383: 89	Original Article
98	Yuki Horio, Motoi Uchino, Masataka Igeta 他	炎症性腸疾患外科	Risk factors for the postoperative recurrence of ulcerative colitis-associated colorectal cancer	International journal of colorectal disease. 2023May; 38: 113 page1	Original Article
99	Taniguchi Y, Shimomura H, Hasunuma H 他	小児科	Association between maternal use of spray formulations and offspring urological anomalies: The Japan Environment and Children's Study.	International journal of urology. 2023Oct; 30: 883	Original Article
100	Yanagi Toueki, Kanematsu Akihiro, Shimatani Kimihiro 他	泌尿器科	Uroflowmetry is a viable surrogate for urethroscopy in evaluation of anatomical success following urethroplasty.	International journal of urology : official journal of the Japanese Urological Association. 2023Apr; 30: 390	Original Article
101	Motonori Takahagi, Haruyuki Takaki, Hiroyuki Yokoyama 他	放射線科	Untangling a Knotted Angiographic Catheter Using a Balloon Catheter: A Case Report.	Interventional radiology (Higashimatsuyama-shi (Japan)). 2023Jul; 8: 80-82	Case report
102	Manabu Shirakawa, Kiyofumi Yamada, Hiroko Watase 他	脳神経外科	Atherosclerotic carotid plaque characteristics vary with time from ischemic event: A multicenter, prospective magnetic resonance vessel wall imaging registry study	J Neurol Sci. 2023May; 446: 120582	Original Article
103	Mino T, Kurosaki Y, Tokumoto K 他	歯科口腔外科	Tooth morphology fusion technique is more accurate than conventional technique in transferring morphology of provisional to definitive screw-retained, implant-supported crown	J Prosthodont Res. 2024Jan; 68: 139	Original Article
104	Yamamoto K, Shiomi H, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Single-Session Versus Staged Multivessel Optimal IVUS-Guided PCI in Patients With CCS or NSTEMI-ACS.	JACC. Asia. 2023Aug; 3: 649	Original Article
105	Yonekazu Kidawara, Miki Kakutani-Hatayama, Hidenori Fukuoka 他	糖尿病・内分泌・代謝内科	Prolonged Hypokalemia Following Metirapone Treatment for Primary Bilateral Macronodular Adrenal Cortical Disease	JCEM case report. 2024Feb; 2:	Case report
106	Tokuda Narumi., Tanaka Hiroyuki., Sawai Hideaki. 他	医療安全管理部	Analyzing the relationship between feelings about pregnancy and mother-infant bonding with the onset of maternal psychological distress after childbirth: The Japan Environment and Children's Study	Journal of Affective Disorders. 2023May; 329: 531	Original Article
107	Kubo Yoshimi, Kanazawa Nobuo, Fukuda Hironobu 他	皮膚科	Saliva contact during infancy and allergy development in school-age children	Journal of Allergy and Clinical Immunology: Global. 2023Aug; 2: 100108	Original Article
108	Hideyuki Kondo, Ayako Takagi, Izumi Fukumoto 他	糖尿病・内分泌・代謝内科	Primary Takotsubo syndrome with recurrent prolactinoma	Journal of Cardiology Cases. 2023Aug; 0: 0	Case report
109	Satoshi Okamoto, Hiroki Ogata, Shohei Ooba 他	麻酔科・疼痛制御科	The Impact of Nociception Monitor-Guided Multimodal General Anesthesia on Postoperative Outcomes in Patients Undergoing Laparoscopic Bowel Surgery: A Randomized Controlled Trial	Journal of Clinical Medicine. 2024Jan; : 618	Original Article
110	Tomita Toshihiko, Fukui Hirokazu, Okugawa Takuya 他	消化管内科	Effect of Bifidobacterium bifidum G9-1 on the Intestinal Environment and Diarrhea -Predominant Irritable Bowel Syndrome (IBS-D) -like Symptoms in Patients with Quiescent Crohn's Disease: A Prospective Pilot Study	Journal of Clinical Medicine. 2023May; 12:	Original Article
111	Watanabe Natsu, Murata Teruasa, Sugisawa Takaaki 他	皮膚科	Uveitis in a psoriasis vulgaris patient receiving deucravacitinib: a case report.	Journal of Cutaneous Immunology and Allergy. 2024Mar; 7: 12545	Case report
112	Matsutani Masako, Imai Yasutomu, Miyamoto Shoko 他	皮膚科	Real-world efficacy of dupilumab re-administration after discontinuation in patients with atopic dermatitis.	Journal of Cutaneous Immunology and Allergy. 2024Jan; 7: 12480	Original Article
113	Soh Nishimoto, Kenichiro Kawai, Toshihiro Fujiwara 他	形成外科	Locating Cephalometric Landmarks with Multi-Phase Deep Learning.	Journal of Dental Health and Oral Research. 2023Apr; 1: 1	Original Article
114	Nakamizo Satoshi, Murata Teruasa, Ishida Yoshihiro 他	皮膚科	A Japanese case of Vörner-type palmoplantar keratoderma caused by a novel AKT1 variant	The Journal of Dermatology. 2023Sep; 50: e307	Case report
115	Osugi Keiko, Kusunoki Yoshiki, Ohigashi Mana 他	糖尿病・内分泌・代謝内科	Association between low-carbohydrate diets and continuous glucose monitoring-derived time in ranges	Journal of Diabetes Investigation. 2023May; 14: 659	Original Article
116	Yoshihara Takeo, Shinzaki Shinichiro, Iijima Hideki 他	消化管内科	Combination therapy of ustekinumab and immunomodulator for inflammatory bowel disease concerns about the different results observed between two meta-analyses.	Journal of Gastroenterology and Hepatology. 2023May; 38: 830	Original Article
117	Matono Tomomitsu, Tada toshifumi, Nishimura Takashi 他	超音波センター	VfMAP predicted hepatocellular carcinoma development in patients with chronic hepatitis C who were treated with direct-acting antiviral and achieved sustained virologic response	Journal of Medical Ultrasonics. 2023Dec; :	Original Article
118	Ogino Nana., Wakimoto Yu., Nakagawa Kohei. 他	産科婦人科	Primordial follicles remaining in young cancer survivors who received chemotherapy	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 2023Jun; 49: 2073	Original Article
119	Iwamoto Maiko., Tsubamoto Hiroshi., Yoshiyasu Kanako. 他	産科婦人科	Fertility-sparing management of stage IIIC serous borderline ovarian tumor: A case report of a 20-year follow-up	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 2023Aug; 49: 2761	Case report
120	Huang Changsheng., AlSubki Lujain., Yamaya Ayano. 他	産科婦人科	Poor ovarian response in assisted reproductive technology cycles is associated with anti-ovarian antibody and pro-inflammatory immune responses	Journal of Reproductive Immunology. 2023Dec; 160:	Original Article
121	Chen Yuekun., Hasegawa Akiko., Honda Haruka. 他	産科婦人科	Characterization of a spontaneously occurring self-reactive antibody to sperm in mice.	Journal of Reproductive Immunology. 2023Jun; 157: 1-7	Original Article
122	Masayoshi Nakano, Ayako Miyazaki, Hiroe Konishi 他	臨床検査部	Autoantibodies as Biomarkers in Thyroid Diseases	Journal of Thyroid Disorders & Therapy. 2023May; 12: 1	Review
123	Kinjo N, Ueda S, Uchida K 他	脳卒中センター	Impact of anemia on major bleeding in patients taking oral anticoagulants for nonvalvular atrial fibrillation.	Journal of arrhythmia. 2023Jun; 39: 556	Original Article
124	Takeda Yu, Tsujimoto Kazuyuki, Okamoto Teru 他	整形外科	Efficacy of Anterior Quadratus Lumborum Block and Pain After Total Hip Arthroplasty: A Randomized Controlled Trial.	The Journal of arthroplasty. 2023Nov; 38: 2386-92	Original Article
125	Shiba M, Kato T, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Heterogeneity in Characteristics and Outcomes of Patients who met the Indications for Vericiguat Approved by the Japanese Agency: From the KCHF Registry.	Journal of cardiac failure. 2023Jun; 29: 976	Original Article

126	Futani Hiroyuki, Kawaguchi Takayuki, Sawai Tatsuo 他	整形外科	Treatment strategy of fractured osteochondroma in the young athlete's knee.	Journal of clinical medicine. 2023May; 12: 3615	Original Article
127	Kazunori Miyamoto, Atsuto Saeiki, Sachiko Oshita 他	麻酔科・疼痛制御科	Age-related changes in intraoperative mean values of nociceptive response in patients undergoing non-cardiac surgery under general anesthesia: A retrospective cohort study	Journal of clinical monitoring and computing. 2024Jan; :	Original Article
128	Motoi Uchino, Hiroki Ikeuchi, Tatsuki Noguchi 他	炎症性腸疾患外科	Histological differentiation between sporadic and colitis-associated intestinal cancer in a nationwide study: A propensity-score-matched analysis	Journal of gastroenterology and hepatology. 2024Jan; 00: 1	Original Article
129	Saito Takahiro, Okazaki Ken, Fushimi Katsuya 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Usefulness of post-operative endoscopic score for optimal treatment selection in recurrent eosinophilic chronic rhinosinusitis.	The Journal of laryngology and otology. 2024May; 138: 162	Original Article
130	Yamaura Tetsuto, Maruo Keishi, Arizumi Fumihiro 他	整形外科	Adjacent vertebral Hounsfield unit value of acute osteoporotic vertebral fracture is a risk factor for concomitant domino osteoporotic vertebral fractures.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association. 2023May; 28: 536-42	Original Article
131	Morimoto Shota, Iseki Tomoya, Shimmyo Airi 他	整形外科	Stress fracture of the lateral talar process in a male basketball player treated by percutaneous screw fixation: A case report.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association. 2023Nov; 28: 1555-60	Case report
132	Higa Masaru, Nakayama Hiroshi, Kanto Ryo 他	整形外科	Optimal additional support screw position for prevention of hinge fracture in biplanar closed wedge distal femoral osteotomy.	Journal of orthopaedics. 2023Sep; 43: 1-5	Original Article
133	Sakuma M, Ohta Y, Takeuchi J 他	臨床研究支援センター	Adverse Events in Pediatric Inpatients: The Japan Adverse Event Study.	Journal of patient safety. 2024Jan; 20: 38	Original Article
134	Shojima Kensaku, Kobayashi Taiichiro, Tabuchi Takahiro 他	総合内科	Impact of COVID-19 Pandemic on the Influenza Vaccination and Predictors of Influenza Vaccination in Japan: A Cross-sectional Study.	Journal of public health management and practice : JPHMP. 2023Apr; : On line ahead of print	Original Article
135	Shojima K, Kobayashi T, Tabuchi T 他	総合内科	Impact of COVID-19 Pandemic on the Influenza Vaccination and Predictors of Influenza Vaccination in Japan: A Cross-sectional Study.	Journal of public health management and practice : JPHMP. 2023Sep; 29: 701	Original Article
136	Sakakibara F, Uchida K, Yoshimura S 他	脳卒中センター	Mode of Imaging Study and Endovascular Therapy for a Large Ischemic Core: Insights From the RESCUE-Japan LIMIT.	Journal of stroke. 2023Sep; 25: 388	Original Article
137	Saito T, Itabashi R, Uchida K 他	脳卒中センター	In reply to the Letter to the Editor regarding: Identifying large vessel occlusion using the hyperdense artery sign in patients treated with mechanical thrombectomy.	Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association. 2023Nov; 32: 107328	Original Article
138	Akai Shunsuke, Iseki Tomoya, Kanto Ryo 他	整形外科	Osteochondral autologous transplantation for large steroid-induced osteonecrosis lesion of the knee in a young patient yielding satisfactory results despite only partial coverage: a case report.	Journal of surgical case reports. 2023Sep; 2023: rjad487	Case report
139	Morimoto Shota, Iseki Tomoya, Tachibana Toshiya 他	整形外科	Bacillus Calmette-Guérin osteomyelitis of the fifth metatarsal bone in a Japanese infant: a case report.	Journal of surgical case reports. 2023Jun; 2023: rjad362	Case report
140	Kawai Akira, Morimoto Shota, Morio Futoshi 他	整形外科	Chronic Achilles tendon rupture in elderly treated with a combination of the side-locking loop suture technique and early rehabilitation protocol: two cases report.	Journal of surgical case reports. 2023Jun; 2023: rjad339	Case report
141	Morimoto Shota, Tachibana Toshiya, Iseki Tomoya 他	整形外科	Avulsion fracture of the calcaneal tuberosity treated with novel surgical technique using the combination of the side-locking loop suture technique and ring pins: a case report.	Journal of surgical case reports. 2023Apr; 2023: rjad173	Case report
142	Morimoto Shota, Tachibana Toshiya, Iseki Tomoya 他	整形外科	Septic retrocalcaneal bursitis in a young soccer player treated with hindfoot endoscopic bursectomy: a case report.	Journal of surgical case reports. 2023Apr; 2023: rjad169	Case report
143	Watanabe H, Morimoto T, Natsuaki M 他	臨床研究支援センター	Clopidogrel vs Aspirin Monotherapy Beyond 1 Year After Percutaneous Coronary Intervention	Journal of the American College of Cardiology. 2024Jan; 83: 17	Original Article
144	Okawa K, Sogo M, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Relationship Between Endothelial Dysfunction and the Outcomes After Atrial Fibrillation Ablation.	Journal of the American Heart Association. 2023May; 12: e028482	Original Article
145	Yuya Takenaka, Naohito Beppu, Masaki Otani 他	下部消化管外科	Anatomical Validation of Internal Iliac Vessels Assessed by Three-dimensional Angiographic Analysis	Journal of the Anus, Rectum and Colon. 2023Jul; 7: 186	Original Article
146	Naohito Beppu, Masataka Ikeda, Kozo Kataoka 他	下部消化管外科	Erratum for Total Neoadjuvant Chemotherapy in Rectal Cancer: Current Facts and Future Strategies	Journal of the Anus, Rectum and Colon. 2023Jul; 7: 139	Others
147	Ishida Yuya, Murata Teruasa, Kakiuchi N 他	皮膚科	Emergence of multiple revertant keratinocyte clones in a patient with KID syndrome	Journal of the European Academy of Dermatology and Venerology. 2023Oct; 38: e285	Original Article
148	Saito T, Sakakibara F, Uchida K 他	脳卒中センター	Effect of edaravone on symptomatic intracranial hemorrhage in patients with acute large vessel occlusion on apixaban for non-valvular atrial fibrillation.	Journal of the neurological sciences. 2023Oct; 453: 120806	Original Article
149	Eisuke Ueshima, Keitaro Sofue, Haruyuki Takaki 他	放射線科	Lenvatinib mitigates transarterial embolization-induced polarization of tumor-associated macrophages in a rat hepatocellular carcinoma model.	Journal of vascular and interventional radiology : JVIR. 2023Nov; :	Original Article
150	Mori R, Honda S, Gomi F 他	眼科	Efficacy, durability, and safety of faricimab up to every 16 weeks in patients with neovascular age-related macular degeneration: 1-year results from the Japan subgroup of the phase 3 TENAYA trial	Jpn J Ophthalmol. 2023May; 67: 301	Original Article
151	Kuragano Takahiro, Okami Soguru, Tanaka-Mizuno Sachiko 他	腎・透析内科	Anemia treatment, hemoglobin variability, and clinical events in non-dialysis-dependent chronic kidney disease patients in Japan.	Kidney360. 2023Sep; 4: e1223	Original Article
152	Kanto Ryo, Yamaguchi Motoi, Yoshiya Shinichi 他	整形外科	High prevalence of associated intra-articular injuries with increasing time period from anterior cruciate ligament injury to reconstruction, even in apparent copers.	The Knee. 2023Oct; 44: 110-7	Original Article
153	Aoyagi Haruyo, Iijima Hiroko, Eman S, Gaber 他	超音波センター	Hepatocellular organellar abnormalities following elimination of hepatitis C virus.	Liver international : official journal of the International Association for the Study of the Liver. 2023Jun; 43: 1677	Original Article
154	Yoshie Norichika, Maruo Keishi, Arizumi Fumihiro 他	整形外科	The Relationship between the Hounsfield Units Value of the Upper Instrumented Vertebra and the Severity of Proximal Junctional Fracture after Adult Spinal Deformity Surgery.	Medicina (Kaunas, Lithuania). 2023Jun; 59: 1086	Original Article
155	Enomoto Hirayuki, Yuri Yukihisa, Nishimura Takashi 他	肝・胆・膵内科	A Low Geriatric Nutritional Risk Index Is Associated with Low Muscle Volume and a Poor Prognosis among Cirrhotic Patients	Medicina (Kaunas, Lithuania). 2023Nov; 59: 2099	Original Article
156	Yuka Hamanaka, Wakana Ueda, Kanako Taki 他	麻酔科・疼痛制御科	Intraoperative nociception and postoperative inflammation associated with the suppression of major complications due to thoracic epidural block after pleurectomy/decortication for malignant pleural mesothelioma under general anesthesia: A retrospective observational study	Medicine. 2023Sep; 102: 35	Original Article

157	Toi Masakazu, Tachibana Toshiya, Noguchi Koichi 他	整形外科	COX2 expression plays a role in spinal cord injury-induced neuropathic pain.	Neuroscience letters. 2024Feb; 823: 137663	Original Article
158	Sugisawa T, Ishikawa H, Uchida K 他	眼科	Risk Factors for Legal Blindness in 77 Japanese Patients with Endogenous Endophthalmitis: A Multicenter Cohort Study from J-CREST	Ocul Immunol Inflamm. 2023Sep; 31: 1505	Original Article
159	Yoshimura A, Ishikawa H, Uchida K 他	眼科	Risk Factors for Legal Blindness in 237 Japanese Patients with Exogenous Endophthalmitis: A Multicenter Cohort Study from J-CREST	Ocul Immunol Inflamm. 2023Jan; 26: 1	Original Article
160	Bao Yuhang, Wu Xiuxian, Kanematsu Akihiro 他	泌尿器科	Celastrol enhances TRAIL-R2-mediated apoptosis and cytotoxicity in human renal cell carcinoma cells in caspase-dependent manner.	Oncology reports. 2023Nov; 51: 12	Original Article
161	Tahara E, Yamamoto Y, Sugisawa T 他	眼科	Patients with central serous chorioretinopathy have high circulating alpha-klotho concentrations	PLoS One. 2023Dec; 18: e0295795	Original Article
162	Kanazawa Nobuo, Ishii Taeko, Takita Yasushi 他	皮膚科	Efficacy and safety of baricitinib in Japanese patients with autoinflammatory type I interferonopathies (NNS/CANDLE, SAVI, And AGS)	Pediatric Rheumatology. 2023Apr; 21: 38	Original Article
163	Seko Y, Kato T, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Weight loss during follow-up in patients with acute heart failure: From the KCHF registry.	PLoS one. 2023Jun; 18: e0287637	Original Article
164	Matsumashi A, Nagata K, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Mechanical ventilation for acute exacerbation of fibrosing interstitial lung diseases.	Respiratory investigation. 2023May; 61: 306	Original Article
165	Hiroai Okutani, Silvia Lo Vecchio, Nadia Ammitzbell 他	麻酔科・疼痛制御科	Effects of oral morphine on experimentally evoked itch and pain: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial	Scandinavian Journal of Pain. 2023Sep; 23: 743	Original Article
166	Yoshimura A, Hosotani Y, Kimura A 他	眼科	Quantitative evaluation of blinking in blepharospasm using electrooculogram-integrated smart eyeglasses	Scientific Reports. 2023Jun; 13: 9868	Original Article
167	Namitome S, Uchida K, Shindo S 他	脳神経外科	Number of Passes of Endovascular Therapy for Stroke With a Large Ischemic Core: Secondary Analysis of RESCUE-Japan LIMIT.	Stroke. 2023Aug; 54: 1985	Original Article
168	Chatani R, Yamashita Y, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Cancer-associated venous thromboembolism in the direct oral anticoagulants era: Insight from the COMMAND VTE Registry-2.	Thrombosis research. 2024Feb; 234: 86	Original Article
169	Tsujiyama Y, Yamashita Y, Morimoto T 他	臨床研究支援センター	Application of the RIETE score to identify low-risk patients with pulmonary embolism: From the COMMAND VTE Registry.	Thrombosis research. 2023Dec; 232: 35	Original Article
170	Wada Yoshihiro, Minami Kayoko, Natsuaki Masaru 他	皮膚科	A pediatric case of exudative erythema multiforme probably associated with asymptomatic COVID-19.	Trends in Immunotherapy. 2023Aug; 7:	Case report
171	Saito M, Hasunuma H, Okuda M 他	小児科	Relationship between growth and food avoidance with food allergy at age 3 years: The Japan Environment and Children's Study (JECS).	World Allergy Organ J. 2023Oct; 16: 100826	Original Article

計 15 件

- 1 当該特定機能病院内に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院内に所属している場合に限り)。
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet alとする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec. 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つを選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 審査及び審査の範囲、申請手続き、他の研究機関の研究にかかる倫理審査、 倫理審査委員の教育、利益相反等について記載	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規程の主な内容 COIマネジメント指針、マネジメント対象者及び対象事項、COIマネジメント委員会の設置及び運営、学外への情報公開等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年26回 (月1回及び随時)

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
・ 研修の主な内容 【研究者倫理講習会 (※web受講)】 日時：2023年7月26日(水)～	

講師：兵庫医科大学 倫理審査委員会 委員長

麻酔科学 廣瀬 宗孝 主任教授

参加者：922人（※2024年8月7日時点）

（注）前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

初期臨床研修を修了した卒後3年目以上の医師を対象に専門医を目指すための専門的な研修を行う。当該研修においては、専攻分野ごとに研修プログラムを策定し、研修目標・到達目標の設定や、年次ごとのカリキュラムの設定を通して、効果的な研修が実施できるよう配慮している。  
なお、多数の症例を経験させるために、関連病院とも協働して研修を実施している。  
また、専攻分野によっては、研修期間中に大学院へと進学し、研究を行うことを可能としているものもある。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	195.4 人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
澤田 暁宏	血液内科	講師	28年	
安部 武生	アレルギー・リウマチ内科	助教	13年	
西村 貴士	肝・胆・膵内科 超音波センター	講師	23年	
小西 康輔	糖尿病・内分泌・代謝内科	講師	31年	
栗林 康造	呼吸器内科 がんセンター	教授	29年	
渡邊 将平	脳神経内科	講師	25年	
名波 正義	腎・透析内科	講師	27年	
関 庚徳	循環器内科	講師	22年	
奥川 卓也	内視鏡センター	講師	18年	
横山 陽子	消化管内科	助教	19年	
山崎 博充	総合内科	助教	17年	
清野 仁美	精神科神経科	講師	28年	
李 知子	小児科	准教授	20年	
多田 正晴	肝・胆・膵外科	准教授	28年	
田附 裕子	小児外科	講師	24年	
倉橋 康典	上部消化管外科	講師	27年	
別府 直仁	下部消化管外科	講師	20年	
桑原 隆一	炎症性腸疾患外科	講師	14年	
永橋 昌幸	乳腺・内分泌外科	准教授	22年	
山村 光弘	心臓血管外科	講師	37年	
橋本 昌樹	呼吸器外科	講師	19年	
井石 琢也	整形外科	助教	14年	
西本 聡	形成外科	教授	34年	
立林 洸太郎	脳神経外科	助教	16年	

和田 吉弘	皮膚科	助教	10年
山本 新吾	泌尿器科	主任教授	37年
福井 淳史	産科婦人科	准教授	29年
福山 尚	眼科	助教	21年
寺田 友紀	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	准教授	28年
富士原 将之	放射線科	准教授	26年
狩谷 伸享	麻酔科・疼痛制御科 ペインクリニック部	教授	32年
寺嶋 真理子	救命救急センター	准教授	26年
竹田 健太	ICU	准教授	25年
道免 和久	リハビリテーション部	主任教授	38年
山崎 隆	病院病理部	助教	17年
宮崎 彩子	臨床検査部	准教授	31年
中嶋 一彦	感染制御部	准教授	28年
野口 一馬	歯科口腔外科	教授	33年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【医療安全】

- ① 兵庫医科大学病院における医療安全管理体制および特定機能病院承認要件に関する説明会、医療倫理講演会（第1回医療講演会）「兵庫医科大学病院における医療安全管理体制について」「未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関すること」「高難度新規医療技術を用いた医療提供に関すること」「医療倫理に関すること」
- ② 第2回医療講演会「MR検査における医療安全」「転倒・転落予防について」「転倒・転落リスク軽減を目的とした病棟定数配置薬の見直しと多職種カンファレンスの活用」
- ③ 第3回医療講演会「医療放射線に関する安全管理について」
- ④ 第4回医療講演会 医療機器安全研修「ME機器の安全使用について」
- ⑤ 第5回医療講演会「Rapid Response System【RRS】」「その使い方で大丈夫？ 医療ガスの安全な使用方法」
- ⑥ 第6回医療講演会「血液製剤の取扱と輸血用検体について」「輸血の安全な管理と投与」「報告書確認サポートチーム」「骨粗鬆症に対する知識の共有とFLSの意義について」
- ⑦ 第7回医療講演会「抗がん薬治療の安全な投与管理」

【感染対策】

- ① 第1回院内講演会 「手術部位感染について」
- ② 第2回院内講演会 「耐性グラム陰性菌に対する抗菌薬適正使用」
- ③ 第3回院内講演会 「人工呼吸器関連肺炎 対策」
- ④ 第4回院内講演会 「クリーンハンドキャンペーン」
- ⑤ 第5回院内講演会 「Clostridioides difficile感染症」

⑥ 第6回院内講演会 「培養検体の適正な採取」

・研修の期間・実施回数

【医療安全】

- ① R5. 5. 22～
- ② R5. 6. 26～
- ③ R5. 7. 24～
- ④ R5. 8. 28～
- ⑤ R5. 9. 25～
- ⑥ R6. 1. 22～
- ⑦ R6. 2. 26～

【感染対策】

病院感染対策に関する研修（第4回クリーンハンドキャンペーンは実習による研修、  
その他の講演会については、全てe-LearningおよびDVD貸出で実施）

- ①2023. 4. 1～ ②2023. 6. 5～ ③2023. 9. 13～ ④2023. 9. 11～15・2023. 11. 13～17
- ⑤2023. 12. 25～ ⑥2024. 3. 14～

・研修の参加人数

【医療安全】

- ① 1,764名
- ② 1,506名
- ③ 1,794名
- ④ 1,070名
- ⑤ 885名
- ⑥ 548名
- ⑦ 441名

【感染対策】

※参加人数は実習参加およびe-Learning、DVD貸出の全てを含む

①1,668名 ②1,674名 ③1,493名 ④2,342名 ⑤618名 ⑥236名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

【感染対策】

・研修の主な内容

- ① 薬剤部：薬剤師「術後感染予防抗菌薬」
- ② 看護部：新人看護師「ノバイス対象 部署標準予防策研修」
- ③ 薬剤部：薬剤師「耐性腸内細菌目細菌 -感受性-」
- ④ 看護部：リンクナース/感染防止委員「手指衛生」
- ⑤ 薬剤部：薬剤師「耐性グラム陰性桿菌治療薬（ESBL、CRE、MDRP）」
- ⑥ 看護部：看護師ラダーⅠ「感染対策の基本 ~経路別予防策~」
- ⑦ 薬剤部：薬剤師「βラクタムアレルギー時の術後感染予防抗菌薬の具体例、ICTwebの紹介」
- ⑧ 薬剤部：薬剤師「*Clostridioides difficile*感染（CDI）の診断、リスク因子」
- ⑨ 薬剤部：薬剤師「CDIの治療」
- ⑩ 卒後研修室：臨床研修医「抗菌薬選択の考え方」
- ⑪ 看護部：看護助手「退室時清掃 病室のUV照射による消毒について ライトストライクの使い方」
- ⑫ 看護部：看護師ラダーⅡ「聴いて、実践！カテーテル関連血流感染（CRBSI）予防策」
- ⑬ 看護部：リンクナース/感染防止委員「手指衛生」
- ⑭ 看護部：6西病棟看護師/部署研修「6西病棟カテーテル関連血流感染」
- ⑮ 薬剤部：薬剤師「菌血症治療」
- ⑯ 薬剤部：薬剤師「抗真菌症」

⑰ 薬剤部：薬剤師「カンジダ症などの真菌感染症」

⑱ 薬剤部：薬剤師「テイコプラニンの症例検討」

・研修の期間・実施回数

①2023. 4. 12 ②2023. 4. 13 ③2023. 5. 16 ④2023. 6. 8 ⑤2023. 6. 15 ⑥2023. 6. 16、6. 22

⑦2023. 7. 12 ⑧2023. 8. 3 ⑨2023. 9. 5 ⑩2023. 9. 8 ⑪2023. 9. 8、9. 26 ⑫2023. 9. 7、9. 12

⑬2023. 10. 12 ⑭2023. 12. 21、12. 27 ⑮2023. 10. 18 ⑯2023. 12. 6 ⑰2024. 1. 10

・研修の参加人数

①45 ②29 ③55 ④33 ⑤49 ⑥107 ⑦45 ⑧50 ⑨45 ⑩20 ⑪96 ⑫114 ⑬33

⑭27 ⑮43 ⑯42 ⑰43 ⑱41

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. (現状)
管理責任者氏名	病院長 池内 浩基
管理担当者氏名	管理課長 永井 大樹、医事課長 福田 禎夫、総務課長 竹嶋 文敏 医療マネジメント課長 川上 健太、薬剤部長 木村 健

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	管理課	保管部署及び電子カルテ上にて管理している。なお、画像保存通信システム(PACS)は平成21年3月16日より、電子カルテシステムは平成25年2月25日より稼働している。また、入院診療録・外来診療録については如何なる場合においても院外への持ち出しはできないが、画像診断記録及びその他の診療記録については所定の手続きを経ることにより持ち出しの許可を受けることができる。
		各科診療日誌	診療各科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	医療マネジメント課、診療各科	
		看護記録	診療各科	
		検査所見記録	医療マネジメント課	
		エックス線写真	医療マネジメント課	
		紹介状	医療マネジメント課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	電子媒体及び紙媒体をファイリングすることで管理している
		高度の医療の提供の実績	管理課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究推進課	
		高度の医療の研修の実績	医療人教育課	
		閲覧実績	-	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療支援課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	管理課 薬剤部	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	電子媒体及び紙媒体をファイリングすることで管理している。一部指針等については院内向けホームページでも公開している。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
	第二条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部 医療マネジメント課
	第三号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
	第四号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	第五号	医薬品安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
	第六号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部
	第七号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部
	第八号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部
	第九号	医療機器安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
	第十号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部
	第十一号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部
第十二号	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部	

電子媒体及び紙媒体をファイリングすることで管理している。一部指針等については院内向けホームページでも公開している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部 医療マネジメント課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部 医療マネジメント課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療マネジメント課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療マネジメント課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		監査委員会の設置状況	医療安全管理部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部 感染制御部 管理課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部
		職員研修の実施状況	医療安全管理部 感染制御部 管理課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	管理課
管理者が有する権限に関する状況	管理課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	内部監査室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院事務部長 小寺 斉人
閲覧担当者氏名	管理課長 永井 大樹、医事課長 福田 禎夫 医療マネジメント課長 川上 健太
閲覧の求めに応じる場所	管理課会議室、医事課会議室
閲覧の手続の概要 諸記録の閲覧を請求できる者である病院に患者を紹介しようとする医師及び歯科医師並びに国及び地方公共団体は、当院病院事務部長に「兵庫医科大学病院諸記録閲覧申請書」に必要事項を記入のうえ、申請を行うことで閲覧の許可を得ることができる。	

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>I. はじめに</li> <li>II. 医療安全管理体制確保のための委員会規約 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全管理規程 <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全管理体制</li> <li>職員に対する教育・研修に関する事項</li> <li>医療事故発生時の対応・報告・分析等に関する事項</li> </ul> </li> <li>・ 医療安全管理者の業務指針</li> </ul> </li> <li>III. 当院における医療安全管理体制図 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故発生時の対応</li> <li>・ 院内救急医療体制</li> <li>・ 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する事項</li> <li>・ 患者からの相談への対応に関する事項</li> </ul> </li> <li>IV. 院内死亡患者における届出について</li> <li>V. 兵庫医科大学病院における異状死体の届出に関する基準</li> <li>VI. 医療事故を起こした職員・当該部署職員への心理的支援について</li> <li>VII. 患者相談に関するフローチャート</li> <li>VIII. 大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針</li> </ul> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（有）</li> <li>①医療安全審議委員会</li> <li>②医療安全対策委員会</li> <li>・ 開催状況：年 ① 14 回 ② 12回</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>①医療安全審議委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定機能病院承認要件に関すること</li> <li>・ 医療事故の原因究明・再発防止に関すること</li> <li>・ 医療事故の公的機関（報道機関を含む）への報告に関すること</li> <li>・ 医療事故の事後措置に関すること</li> <li>・ 医療訴訟に関すること</li> <li>・ 各委員会における審議内容等の監査に関すること</li> <li>・ 改正医療法に関すること</li> </ul> </li> <li>②医療安全対策委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療にかかる医療安全管理のための指針に関すること</li> <li>・ 医療事故発生時の対応に関すること</li> <li>・ 医療事故の分析、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること</li> <li>・ セイフティマネージャーの活動に関すること</li> <li>・ 医療安全管理に関する職員の教育・研修に関すること</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：</li> </ul>	

- ① 兵庫医科大学病院における医療安全管理体制および特定機能病院承認要件に関する説明会、医療倫理講演会（第1回医療講演会）R5. 5. 22～
  - 「兵庫医科大学病院における医療安全管理体制について」
  - 「未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関すること」
  - 「高難度新規医療技術を用いた医療提供に関すること」
  - 「医療倫理に関すること」
  
- ② 第2回医療講演会 R5. 6. 26～
  - 「MR検査における医療安全」
  - 「転倒・転落予防について」
  - 「転倒・転落リスク軽減を目的とした病棟定数配置薬の見直しと多職種カンファレンスの活用」
  
- ③ 第3回医療講演会 R5. 7. 24～
  - 「医療放射線に関する安全管理について」
  
- ④ 第4回医療講演会 医療機器安全研修 R5. 8. 28～
  - 「ME機器の安全使用について」
  
- ⑤ 第5回医療講演会 R5. 9. 25～
  - 「Rapid Response System 【RRS】」
  - 「その使い方で大丈夫？ 医療ガスの安全な使用方法」
  
- ⑥ 第6回医療講演会 R6. 1. 22～
  - 「血液製剤の取扱と輸血用検体について」
  - 「輸血の安全な管理と投与」
  - 「報告書確認サポートチーム」
  - 「骨粗鬆症に対する知識の共有とFLSの意義について」
  
- ⑦ 第7回医療講演会 R6. 2. 26～
  - 「抗がん薬治療の安全な投与管理」

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容:

- ① 発生したインシデント・アクシデントに対して、部長、副部長、専従セイフティマネージャーが発生部門のセイフティマネージャーと共に、内容分析、改善策の検討並びに患者・家族への対応の指示を行う。医療安全対策委員及び各部署のセイフティマネージャーから構成される「オンラインインシデント検討会」を毎週開催し、部門に改善策の助言提案を行う。
- ② 報告のあった医療事故に対し、医療安全審議委員会等で原因を分析し、改善策の検討を行う。迅速な対応が必要な場合、臨時で医療安全審議委員会および医療事故等検討部会を開催し、原因分析・対応策の検討を行う。事案に応じて事故発生1か月後・3か月後（必要時6ヶ月後）に医療安全管理部（専従SM）と当該部署のセイフティマネージャーが、改善策の実施状況を検証し、医療安全審議委員会に報告している。
- ③ 発生したインシデント・アクシデント内容によりテーマを設定し、看護部事故防止委員会・各部署のセイフティマネージャーと連携して、院内監査ラウンドなどを実施している。
- ④ 毎年6月と2月の医療安全強化月間には、テーマを決め各部署の安全への取り組みを奨励支援している。同時に医療安全対策委員会の委員のラウンドを企画し、広く現場の現状を把握し他部署の見学・現場確認をするなどの機会となっている。
- ⑤ 医療安全NEWSを毎月発行し、当院のインシデント・アクシデント情報・再発防止策・事故後の検証結果、他施設の事故事例、医療安全情報（厚生労働省・各種学会・PMDA等）などを掲載し、職員に周知している。
- ⑥ 初期研修医に対し、インシデント発生要因の分析や再発防止策を検討する機会を設け、医療安全対策委員会等で報告することによって、医療安全意識のボトムアップ効果と将来的な医師によるインシデント報告の増加を目指し、医療安全教育の一環として行っている。
- ⑦ 医療安全管理部員が参加している「エコーガイド下CVC挿入推進チーム」と共に安全な医療提供に向け、臨床現場での課題の把握と対策の実施、及び職員教育を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>①感染管理に関する基本的な考え方                  ②感染管理体制                  ③職員の教育・研修                  ④感染症の発生時の報告                  ⑤感染症の発生状況の報告                  ⑥感染症の発生時の対応                  ⑦病院感染対策のための指針の閲覧                  ⑧病院感染対策のための指針の見直し・改正</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>病院感染対策に関する事項を調査・審議し、院内感染症発生時の原因の分析、改善策の立案、実践、周知等感染管理を推進している。なお、必要があるときには臨時で開催する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 44 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>病院感染制御に対する基本的な考え方及び具体的施策の周知、業務を遂行する上での知識・技能の向上及び病院感染制御に対する意識の高揚を目的として、教育・研修を実施している。</p> <p>●病院感染制御をテーマとする講演会を開催(全職員対象) …年6回</p> <p>① 2023. 4. 1～ 第1回院内講演会 テーマ「手術部位感染について」</p> <p>② 2023. 6. 5～ 第2回院内講演会 テーマ「耐性グラム陰性菌に対する抗菌薬適正使用」</p> <p>③ 2023. 9. 13～ 第3回院内講演会 テーマ「人工呼吸器関連肺炎対策」</p> <p>④ 2023. 9. 11～15、2023. 11. 13～17 第4回院内講演会 テーマ「クリーンハンドキャンペーン」</p> <p>⑤ 2023. 12. 25～ 第5回院内講演会 テーマ「<i>Clostridioides difficile</i>感染症」</p> <p>⑥ 2024. 3. 14～ 第6回院内講演会 テーマ「培養検体の適正な採取」</p> <p>●新採用（異動）者を対象とした研修</p> <p>2023. 4. 1～ テーマ「病院感染予防策の基本」（4月～採用職員）</p> <p>2023. 4. 5 テーマ「院内感染対象の実践」（4月採用臨床研修医）</p> <p>2023. 4. 7、4. 11 テーマ「感染対策の基本～キ・ホ・ンの”キ”～」(4月採用看護職者)</p> <p>テーマ「感染対策の基本～手洗い、手指消毒、個人防護具の実践～」(4月採用看護職者)</p> <p>2023. 4. 1～2024. 3. 31(毎月開催)</p> <p>テーマ「新入職時院内感染対策研修(オリエンテーション)」(中途採用病院職員対象)</p> <p>●職種別研修 (以下の職種を対象に研修、教育、指導を実施)</p> <p>・臨床研修室</p> <p>2023. 9. 8 テーマ「抗菌薬選択の考え方」(臨床研修医)</p> <p>・看護部</p> <p>①2023. 4. 13</p>	

テーマ「ノバイス対象 部署標準予防策研修」（新人看護師）  
 ②2023. 6. 8、10. 12  
 テーマ「手指衛生」（感染リンクナース/感染防止委員）  
 ③2023. 6. 16、6. 22  
 テーマ「感染対策の基本 -経路別予防策-」（看護師ラダーⅠ）  
 ④2023. 9. 8、9. 26  
 テーマ「退室時清掃 病室のUV照射による消毒、ライトストライクの使い方」（看護助手）  
 ⑤2023. 9. 7、9. 12  
 テーマ「聴いて、実践！カテーテル関連血流感染（CRBSI）予防策」（看護師ラダーⅡ）  
 ⑥2023. 12. 21、12. 27  
 テーマ「6西病棟カテーテル関連血流感染」（6西病棟看護師）

・薬剤部（対象はすべて薬剤師）

①2023. 4. 12  
 テーマ「術後感染予防抗菌薬」  
 ②2023. 5. 16  
 テーマ「耐性腸内細菌目細菌 -感受性-」  
 ③2023. 6. 15  
 テーマ「耐性グラム陰性桿菌治療薬（ESBL・CRE・MDRP）」  
 ④2023. 7. 12  
 テーマ「βラクタムアレルギー時の術後感染予防抗菌薬の具体例、ICTwebの紹介」  
 ⑤2023. 8. 3  
 テーマ「*Clostridioides difficile*感染（CDI）の診断、リスク因子」  
 ⑥2023. 9. 5  
 テーマ「CDIの治療」  
 ⑦2023. 10. 18  
 テーマ「菌血症治療」  
 ⑧2023. 12. 6  
 テーマ「抗真菌薬」  
 ⑨2024. 1. 10  
 テーマ「カンジダ症などの真菌感染症」  
 ⑩2024. 3. 7  
 テーマ「テイコプラニンの症例検討」

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

病院で取り決めた感染症発生時は、マニュアルに従って、各診療科より報告される。緊急対応が必要な病原体は別途定め「感染症発生時の対応パターン分類」に基づいて対応し、必要により感染対策委員会で審議の上、対策を講じている。

耐性菌については「レベル別分類」を別途設けており、レベルに応じた対策を講じる。耐性菌検出時は即時に対応しており、保菌者に対しても感染管理ラウンドにより感染対策の実践状況进行评估し適宜介入する。

CLABSI、CAUTI、VAEサーベイランスを全病院で実施している。

アウトブレイクを疑う事例が発生した場合は、「アウトブレイク発生時の対応」に基づき対応する。アウトブレイクの可能性が高いと判断した場合、感染制御部による原因の究明ならびに感染拡大防止策を実施する。更にレベル4以上の多剤耐性菌については、1例目の検出からアウトブレイク対応として迅速に対応することとしている。

院内の感染症治療および抗菌薬の適正使用支援に関しては、抗菌薬適正使用支援ラウンドとして、感染症治療に関するコンサルテーションに対する対応、ICUでの重症患者治療、無菌検体から検出した病原体への治療介入、新規耐性菌に対する感染症の評価（必要時治療介入）およびタゾバクタム/ピペラシリンとカルバペネム系抗菌薬使用症例の翌日および使用後の72-96時間後の評価とフィードバックを行う。抗緑膿菌活性を有する抗菌薬の使用割合をDOT（1000患者日あたりの使用日数）で評価し、カルバペネム系 30%、タゾバクタム/ピペラシリン 30%、第4世代セファロスポリン系/セフトアジジム等 30%、注射用 ニューキノロン系 10%を目標として使用割合をコントロールし、抗菌薬の適正使用を推進している。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>① 新規採用職員対象入職時研修 R5. 4. 1～ 「医薬品の安全管理について」 演者 兵庫医科大学病院 薬剤部 木村 健</p> <p>② 臨床研修医オリエンテーション R5. 4. 5 「医薬品の安全使用について」 演者 兵庫医科大学病院 薬剤部 木村 健</p> <p>③ 兵庫医科大学病院における医療安全管理体制および特定機能病院承認要件に関する説明会、（第1回医療講演会） 「未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関すること」 演者 兵庫医科大学病院 副院長 医薬品安全管理責任者 木島 貴志</p> <p>④ 第2回医療講演会 R5. 6. 26～ 「転倒・転落リスク軽減を目的とした病棟定数配置薬の見直しと多職種カンファレンスの活用」 演者 医療安全管理部専従薬剤師 岡田健男</p> <p>⑤ 第7回医療講演会 R6. 2. 26～ 「抗がん薬治療の安全な投与管理」 演者 がんセンター師長 がん看護専門看護師 西村裕美子</p> <p>⑥ その他 病棟薬剤師などから各診療科・病棟スタッフに対して医薬品安全管理に関するレクチャーを実施 （例：化学療法施行の注意事項・副作用について、新規薬剤の投与・溶解方法・運用方法等（ベクルリー、など）について、KCL注の適正使用について、簡易懸濁法について、新規病棟定数配置眠剤（デエビゴ2.5mg）について など 令和5年4月～令和6年3月までで228件）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （有）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院で用いる医薬品の採用・購入などに関する事項</li> <li>・ 医薬品の管理に関する事項</li> <li>・ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項</li> <li>・ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項</li> <li>・ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項</li> <li>・ 他施設との連携に関する事項</li> <li>・ 放射性医薬品の取り扱いに関する事項</li> <li>・ 院内製剤の調製及び使用に関する事項</li> <li>・ 未承認新規医薬品等の使用に関する事項</li> </ul>	

・未承認等の医薬品の使用に関する事項

医薬品の安全使用のための業務手順書に基づく業務の実施については、業務確認票を用いてセイフティマネージャーと薬剤師で相互にチェックを行い、医薬品安全管理責任者に報告し確認が行われている。

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) :

未承認等の医薬品 (適応外使用又は禁忌使用) は、各診療科が未承認新規医薬品等評価委員会に届け出ることによって病院として把握するシステムが構築されている。具体的な使用事例としては、ステロイド不応性の特発性間質性肺炎に対するネオオーラル、エンドキサンの使用が日本呼吸器学会のガイドラインに基づき使用していることが報告されている。

- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

- ・ 保険診療等で適用が承認されていない治療や薬品等の使用を行い緊急避難的な治療を行う場合、医療倫理委員会に申請して審査を受けることができる。
- ・ 医師の処方した薬剤の使用が未承認医薬品の使用若しくは適応外又は禁忌等の使用方法に該当することを発見した医師・薬剤師等は、薬学的見地に基づき必要に応じて処方した医師等に対して、処方の必要性や妥当性等を確認し処方の変更等の提案を行っている。
- ・ 緊急安全性情報、安全性速報などの迅速な対応を必要とする情報提供はその経過の記録を保管している。その他、必要に応じて医薬品適正使用のために周知すべき注意喚起情報は、月1回の医療安全ニュースに掲載し、その閲覧状況を確認している。
- ・ 医薬品安全管理責任者に指名された担当者は、院内の医薬品の使用状況を月一回程度定期的に確認し、その結果を踏まえて添付文書情報 (禁忌等)、緊急安全性情報、安全性速報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に関わる情報を整理し、必要に応じてその結果を医薬品安全管理責任者に報告している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年109回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の機器を中心に取り扱い方法・安全対策について研修を行っている</li> <li>・人工呼吸器 ・血液浄化装置・除細動器 ・補助循環装置 ・不整脈治療関連機器</li> <li>・保育器 ・輸液ポンプ ・医療ガス ・放射線装置等</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 ( 有 )</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の装置に対しては定期点検（外観点検，機能点検，作動点検）を実施している</li> <li>・電気メス ・体外式ペースメーカー ・透析装置 ・血液浄化装置 ・保育器 ・人工心肺装置</li> <li>・補助循環装置 ・除細動器 ・AED ・人工呼吸器 ・麻酔器 ・輸液ポンプ</li> <li>・シリンジポンプ ・ベッドサイドモニター ・セントラルモニター</li> <li>・下肢深部静脈血栓予防装置 ・超音波診断装置 ・筋電計</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( 有 )</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</li>   <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 責任者の資格（医師・歯科医師）</li> <li>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</li> <li>・ 医療安全管理責任者は、医療安全管理者（医療安全管理部部長、専従セイフティマネージャー）とともに、病院長から委譲された権限に基づいて安全管理に関する院内の体制を構築し、医療リスクマネジメント委員会の円滑な運営を図っている。</li> <li>・ 医療安全管理責任者は、医療安全対策委員会を開催、議事進行を行い、決議事項を病院長に報告している。</li> <li>・ 医療安全管理責任者は、医療安全管理部の構成員である医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者と連携し、職種・部門間の調整を図りながら、医薬品、医療機器および診療用放射線の安全使用が確保されるように業務を行っている。</li> <li>・ 医療安全管理責任者は医療安全管理に関する必要な情報を医療安全管理部長より報告を受ける。重大な有害事象に対しては、医療安全審議委員会に出席し、審議する。</li> </ul>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況                      医薬品安全管理責任者が指名した薬剤師（医薬品安全管理者）が、院内の医薬品の使用状況を月一回程度定期的に確認し、その結果を踏まえて添付文書情報、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に係る情報を整理し、必要に応じてその結果を医薬品安全管理責任者に報告している。医薬品安全管理責任者は報告された情報を踏まえて、必要に応じて医薬品安全管理者に指示してDIニュースで当該情報を院内に通知している。特に重要な情報については医療安全ニュースの「医薬品安全使用のための注意喚起情報」に掲載し、その周知状況については全診療科の閲覧記録を確認している。また、これらの手順は医薬品の安全使用のための業務手順書に記載して院内に周知している。</li> <li>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況                      未承認等の医薬品（適応外使用又は禁忌使用）は、各診療科が未承認新規医薬品等評価委員会に届け出ることによって病院として把握するシステムが構築されている。未承認新規医薬品等評価委員会が必要に応じて当該診療科に対して指導を行う。また、医薬品が適応外又は禁忌等で使用されたことを発見した医師・薬剤師等は、薬学的見地に基づいて必要に応じて処方した医師等に対して疑義照会を行う。</li> <li>・ 担当者の指名の有無（有）</li> <li>・ 担当者の所属・職種：                      （所属：薬剤部，職種 薬剤師 ）</li> </ul>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有

- ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( 有 )
- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：インフォームドコンセントワーキングを設置し、規定に基づき説明文書・同意書等の審査承認を行い、診療情報管理室において管理統括している。また、全診療科を対象に、多職種の診療録管理委員がチームとなり、対象診療科の医師（病棟医長）並びに看護師長立ち会いの下、「オーディット」を実施している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</li> </ul> <p>責任者には病院長の直轄下に、診療情報管理室長（医師）を設置（選任）しており、診療情報管理士による診療録管理の統轄を行っている。また毎年全診療科を対象に、診療録管理委員の医師、看護師、診療情報管理士がチームとなり、診療科の医師（病棟医長）並びに看護師長立ち会いの下、「オーディット」を実施している。さらに、診療録管理委員会による診療録記載ルールの策定、医療者への指導を行っている。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属職員：専従（4）名、専任（ ）名、兼任（14）名</li> <li>うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（8）名</li> <li>うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名</li> <li>うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（1）名</li> </ul> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の主な内容：</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①安全管理体制の構築、委員会の運営、指針、マニュアルの改訂など</li> <li>②医療事故を防止するための情報収集、分析、改善策の立案、フィードバック、評価</li> <li>③改善策実施のための各部門への依頼、調整、助言</li> <li>④安全管理対策の実施状況の調査、分析</li> <li>⑤セイフティマネージャーの活動支援</li> <li>⑥医療安全に関する職員への教育・研修の実施</li> <li>⑦医療事故への対応：届出・公表を含む事故発生後の対応、事故の要因分析</li> <li>⑧全死亡事例の検証（院内死亡患者届出票・死亡患者リスト）</li> </ol> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（5件）、及び許可件数（5件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）

・活動の主な内容：

- ① 医療安全管理部の求めるところにより、当該高難度新規医療技術の提供に関する倫理的・科学的な妥当性、本院で当該高難度新規医療技術を提供することの適切性並びに当該高難度新規医療技術の適切な提供方法（科学的根拠が確立していない医療技術については、有効性及び安全性の検証の必要性や、本院の体制等を勘案した上で、臨床研究として実施する等、科学的根拠の構築に資する実施方法について検討することを含む。）について審査を行い、当該高難度新規医療技術の提供の適否及び提供後に報告を求める症例数等について評価する。
- ② 前号において評価した結果を、兵庫医科大病院医療の質・安全審議委員会及び医療安全管理部長に対し適否結果意見書（答申書）により答申する。
- ③ 1号で決定した報告を求める症例（数）に対し、術後1年間の経過を医療安全管理部が追跡観察し、当該委員会に報告する。
- ④ 高難度新規医療技術として承認を受けた技術に対して、医療安全管理部が6カ月ごとに安全に実施されているか否かのモニタリングを行い、当該委員会に報告している。
- ⑤ その他、高難度新規医療技術の適切な提供方法に関すること。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）

- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（0件）、及び許可件数（0件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）

・活動の主な内容：

診療科の長から提出された未承認新規医薬品等の申請内容を確認し、未承認新規医薬品等評価委員会に対して当該未承認新規医薬品等を用いた医療提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めている。評価委員会からの意見に基づき適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対し適否結果通知書により通知を行い、また適否等の決定については病院長に報告を行っている。診療科の長は当該未承認新規医薬品等を用いた医療を提供した後、未承認新規医薬品等評価委員会が定める症例数、及び患者が死亡した場合、その他必要とされる場合には、未承認新規医薬品等実施

報告書を当部門に提出することになっている。また承認後1年毎に患者使用状況を提出することになっており、それに基づき診療録等の記載内容の確認を行い、当該未承認新規医薬品等を用いた医療が適正な手続きに基づいて提供されているかどうか確認している。また遵守状況の確認後はその内容を病院長に報告している。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 ( 有 )
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 ( 有 )

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 571 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 153 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

影響レベル3b以上の事例・事象は『事実関係報告書』を提出することとして、予期せぬ合併症、重篤な合併症事例の報告を受け委員会で検討している。

死亡事例報告に関しては、平成28年7月から『院内死亡患者届出票』の様式・運用を決定し提出を促して運用している。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り ( 有 (病院名：大阪医科薬科大学病院) ・ 無 )
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ ( 有 (病院名：大阪医科薬科大学病院) ・ 無 )
- ・ 技術的助言の実施状況

・ 特定生物由来製品の使用記録についてロット番号の転記誤りが生じており、管理業務のシステム化を検討するよう指摘を受けたため、管理システムを導入した。

・ 患者の薬剤管理能力の評価基準が病棟毎で異なっており、職種間・院内統一の評価基準を検討するよう指摘を受けた。新病院にむけて院内統一の評価基準を策定できないか検討を開始している。

・ 処方監査においてPDA端末の導入などシステム化を進める方がよいと助言を受けた。病院へ要望するために情報収集を進めている。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者及び患者家族からの相談は、医療支援センターを窓口としている。内容に応じて医療安全管理部、管理課医療安全係に連絡が入ることとなっている。また、診療科、病棟・外来を介しても医療安全管理部に連絡が入るので、その都度対応している。患者相談に応じる為、メディエーター研修等を受講している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- ① 兵庫医科大学病院における医療安全管理体制および特定機能病院承認要件に関する説明会、医療倫理講演会（第1回医療講演会）「兵庫医科大学病院における医療安全管理体制について」「未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関すること」「高難度新規医療技術を用いた医療提供に関すること」「医療倫理に関すること」
- ② 第2回医療講演会「MR検査における医療安全」「転倒・転落予防について」「転倒・転落リスク軽減を目的とした病棟定数配置薬の見直しと多職種カンファレンスの活用」
- ③ 第3回医療講演会「医療放射線に関する安全管理について」
- ④ 第4回医療講演会 医療機器安全研修「ME機器の安全使用について」
- ⑤ 第5回医療講演会「Rapid Response System【RRS】」「その使い方で大丈夫？ 医療ガスの安全な使用方法」
- ⑥ 第6回医療講演会「血液製剤の取扱と輸血用検体について」「輸血の安全な管理と投与」「報告書確認サポートチーム」「骨粗鬆症に対する知識の共有とFLSの意義について」
- ⑦ 第7回医療講演会「抗がん薬治療の安全な投与管理」

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【受講者】	【日付】
管理者	2024. 2. 6
医療安全管理責任者	2023. 11. 20
医薬品安全管理者	2024. 2. 26
医療機器安全管理責任者	2023. 12. 15

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2024年4月5日付 認定更新（一般病院3）

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

ホームページ上に公表中

・評価を踏まえ講じた措置

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容           <p>人格、学識ともすぐれ、医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等、医療安全確保のために必要な資質・能力を備え、かつ兵庫医科大学病院の理念に沿い、病院の管理運営に必要な資質・能力を有する者</p> <p>(兵庫医科大学病院病院長選考規程 第3条第1項に規定)</p> </li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( 有 )</li> <li>・ 公表の方法           <p>本学ホームページに掲載</p> </li> </ul>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( 有 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( 有 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( 有 )</li> <li>・ 公表の方法           <p>本学ホームページに掲載</p> </li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
西岡 清	学校法人兵庫医科大学 理事	○	病院長選考規程第5条第1項1号 理事長が指名する理事若しくは 評議員	有
鈴木 敬一郎	兵庫医科大学 学 長		病院長選考規程第5条第1項1号 理事長が指名する理事若しくは 評議員	有
藤岡 宏幸	兵庫医科大学ささ やま医療センター 病院長		病院長選考規程第5条第1項1号 理事長が指名する理事若しくは 評議員	有
田中 稔之	兵庫医科大学副学 長 (神戸キャンパ ス統括)		病院長選考規程第5条第1項2号 大学運営会議から選出された神 戸キャンパス統括担当副学長又	有

			は神戸キャンパスに所属する学 部長	
小山 英則	兵庫医科大学 糖 尿病内分泌・免疫 内科学 教授		病院長選考規程第5条第1項3号 医学部教授会から選出された臨 床系教授	有
石原 正治	兵庫医科大学 循 環器・腎透析内科 学 教授		病院長選考規程第5条第1項3号 医学部教授会から選出された臨 床系教授	有
高橋 仁美	兵庫医科大学病院 看護部部長		病院長選考規程第5条第1項4号 兵庫医科大学病院中央部門の部 長（兼任者は除く）の中から病院 部長会において選出された者	有
木村 健	兵庫医科大学病院 薬剤部部長		病院長選考規程第5条第1項4号 兵庫医科大学病院中央部門の部 長（兼任者は除く）の中から病院 部長会において選出された者	有
小寺 齊人	兵庫医科大学病院 病院事務部長		病院長選考規程第5条第1項5号 病院事務部長	有
大村 武久	社会医療法人甲友 会 理事長		病院長選考規程第5条第1項6号 外部有識者（病院経営）	無
木内 淳子	滋慶医療科学大学 大学院客員教授		病院長選考規程第5条第1項6号 外部有識者（医療安全）	無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有		
<p>・合議体の主要な審議内容            病院の管理運営に関して情報交換、情報共有を行うとともに、病院運営の円滑化、効率化や病院経営の健全化に向け必要かつ重要な事項を審議する（合議体名：病院幹部会議 月2回開催）</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況            病院部長会、医局長会議、学内調整連絡会等にて周知を行う。            また、当該合議体である病院幹部会議の規程第2条において、病院部長会への報告と職員の周知が定められている</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有）</p> <p>・公表の方法            院内ホームページに掲載</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（無）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
池内 浩基	○	医師	病院長
木村 卓		医師	副院長
山門 享一郎		医師	副院長
木島 貴志		医師	副院長、がんセンター長
篠原 尚		医師	副院長
廣瀬 宗孝		医師	副院長
高橋 仁美		看護師	副院長・看護部長
木村 健		薬剤師	薬剤部長
源 貴裕		放射線技師	放射線技術部長
狩野 春艶		臨床検査技師	臨床検査技術部長
小寺 斉人		事務職員	病院事務部長
中嶋 一彦		医師	感染制御部長
田中 宏幸		医師	医療安全管理部長
中村 高志		事務職員	総務部長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有）
- ・ 公表の方法

院内ホームページに掲載

- ・ 規程の主な内容

病院長の任務と権限、任期等

病院長規程

第3条（病院長の任務と権限）に基づき、管理運営上必要な意思決定、人事、予算執行に関する適切な権限を有する。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
病院規程第4条において、病院長の職務を円滑にするため、副院長を置くことができるとあり現在、以下6名を配置している。

（所属・役職等）

上部消化管外科診療部長

麻酔科診療部長

放射線科診療部長

呼吸器内科診療部長

脳神経内科診療部長

看護部部長

（担当）

外科部門長、医療の質・医療安全管理、教育研究体制、機能評価

働き方改革、急性医療総合センター、医療倫理

情報システム、高難度新規医療技術評価

内科部門長、がん診療、未承認新規医薬品等評価

地域連携、診療体制、篠山・梅田連携

療養環境、患者サービス、病床管理

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
各職種の管理職（マネジメントを担う人員）に対する研修を実施

◆人事考課

◆病院の運営方針研修会

◆2024年度事業計画タウンホールミーティング

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況	有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 第1回：2023年9月28日 第2回：2024年2月28日</p> <p>・ 活動の主な内容： 病院長から医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全審議委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者の業務が適切に実施されているか等について説明（報告）を求めるとともに実地（外部委員を含めた立ち入り調査を含む）で監査を行う。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有） ・ 委員名簿の公表の有無（有） ・ 委員の選定理由の公表の有無（有） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有） ・ 公表の方法： 兵庫医科大学病院のホームページにて掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
宮崎 浩彰	関西医科大学 医療安全管理 センター副セ ンター長 (兼任) 消化器 肝臓内科/理事 長特命教授(医 師)	○	医療に係る安全 管理に関する見 解を有する者	有・無	1
亀井 尚也	かけはし法律 事務所(弁護 士)		法律に関する見 解を有する者	有・無	1
辰馬 勝	学校法人 関西 学院評議員 関西学院同窓 会 副会長		医療を受ける者 の立場から意見 を述べることが できる者	有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを  
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

内部監査室による監査の実施（学校法人兵庫医科大学内部監査規程）  
理事長直轄の組織として内部監査室を設置している  
監査対象は、法人、大学、病院であり法人全体となっている  
年度監査計画に、「特定機能病院の管理者に係る業務の執行状況監査」を定例監査として  
組み入れ、実施している  
監査結果は理事長へ報告するとともに、被監査部署に通知している  
指摘事項等に対する改善状況については、フォローアップ監査を実施し確認している

- ・ 専門部署の設置の有無（有・無）
- ・ 内部規程の整備の有無（有・無）
- ・ 内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 年6回（定例）の理事会の開催</li> <li>・ 会議体の実施状況（年9回）※定例開催6回、臨時開催3回</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有）（年7回）※回答書提出2回</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（無）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有）</li><li>・ 通報件数（年0件）</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（有）</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有）</li><li>・ 周知の方法<ul style="list-style-type: none"><li>■ 医療安全に関する通報 → 病院事務部 → スタッフマニュアルに掲載</li><li>■ 公益通報 → 内部監査室 → ホームページに掲載</li><li>■ 病院運営情報全般 → 管理課 → 教職員宛に通知のうえホームページに掲載</li></ul></li></ul>